

デジタル ビデオカメラ レコーダー **8**

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



Digital 8
Digital Handycam

InfoLITHIUM™ **L**
SERIES

DCR-TRV220K



とにかく
撮って見る
4ページ

準備
6ページ

撮る
12ページ

見る
19ページ

使いこなす
- 撮影
24ページ

使いこなす
- 再生
41ページ

編集する
48ページ

お買い上げ時の
設定を変える
55ページ

その他
64ページ

検索する
78ページ

目次

| | |
|-----------------|---|
| とにかく撮って見る | 4 |
|-----------------|---|

準備

| | |
|--------------------|----|
| 準備1 電源を準備する | 6 |
| バッテリーを取り付ける | 6 |
| バッテリーを充電する | 7 |
| コンセントにつないで使う | 10 |
| 準備2 カセットを入れる | 11 |

撮る

| | |
|--|----|
| 撮影する | 12 |
| 逆光補正をする | 15 |
| 暗闇で撮る - NIGHTSHOT(ナイトショット) SUPER NIGHTSHOT(スーパーナイトショット) ... | 16 |
| 次の撮影開始点を探す - エンドサーチ/エディットサーチ/ レックレビュー | 18 |

見る

| | |
|--------------|----|
| 再生する | 19 |
| テレビで見る | 22 |

使いこなす

撮影

| | |
|--------------------------------|----|
| テープに静止画を撮る - テープフォト撮影 | 24 |
| 横長の画面にする - ワイドTVモード | 26 |
| 効果的な場面転換をする - フェーダー | 27 |
| 画像に特殊効果を加える - ピクチャーエフェクト | 29 |
| 特殊な演出を加えて撮る - デジタルエフェクト | 30 |
| 撮影状況に合わせて撮る - プログラムAE | 32 |
| 手動で画像の明るさを調節する | 34 |
| 手動でピントを合わせる | 35 |
| タイトルを入れる | 36 |
| オリジナルタイトルを作る | 38 |
| 一部分だけ撮り直す | 40 |

必ずお読みください

お使いになる前に

本機はDigital8(デジタルエイト)方式のデジタルビデオカメラレコーダーです。

Hi8マークのついたHi8(ハイエイト)/Digital8(デジタルエイト)テープを使用します。録画方式はDigital8(デジタルエイト)方式になります。また、本機は、他機で撮影したHi8(ハイエイト)Hi8方式、またはスタンダード8ミリ方式の画像を再生することができます。よりよいつなぎ撮りのために、これらの方式とDigital8(デジタルエイト)方式で記録した映像を同一テープに混在させないことをお勧めします。

また、本取扱説明書に記載された再生機能には、Digital8(デジタルエイト)方式で撮影された映像にのみ有効なものがありますので、ご了承ください。

ためし撮り

必ず事前にためし撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。

録画内容の補償はできません。

万一、ビデオカメラレコーダーなどの不具合により録画や再生がされなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

著作権について

あなたがビデオで録画・録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

使いこなす

再生

| | |
|----------------------------|----|
| 画像にピクチャーエフェクトを加えて見る | 41 |
| 画像にデジタルエフェクトを加えて見る | 42 |
| 撮影した画像を拡大する - 再生ズーム | 43 |
| 見たい場面にすばやく戻す - ゼロセットメモリー | 44 |
| 撮影日の変わり目を探す - 日付サーチ | 45 |
| 見たい静止画を探す - フォトサーチ/フォトスキャン | 46 |

編集する

| | |
|----------------------------------|----|
| 他のビデオヘダビングする | 48 |
| アナログ機器とパソコンをつなげて使う - デジタル変換機能 | 50 |
| ビデオやテレビから録画する | 51 |
| 撮影したテープに新しく画像を挿入する | 53 |

お買い上げ時の設定を 変える

| | |
|-------------|----|
| メニューで設定を変える | 55 |
| 日付・時刻を合わせ直す | 62 |

その他

| | |
|----------------------------|----|
| Digital8 (デジタルエイト)方式と記録・再生 | 64 |
| i.LINK (アイリンク)について | 65 |
| ボタン型リチウム電池を交換する | 66 |
| 故障かな?と思ったら | 67 |
| 自己診断表示 - アルファベットで始まる表示が出たら | 72 |
| 警告表示とお知らせメッセージ | 73 |
| 海外で使う | 74 |
| お手入れ | 75 |
| 主な仕様 | 76 |
| 保証書とアフターサービス | 77 |

検索する

| | |
|---------|----|
| 各部のなまえ | 78 |
| 主な機能ガイド | 85 |
| 索引 | 86 |

液晶画面、ファインダーおよびレンズにつ いて

液晶画面やカラーファインダーは非常に精密度の高い技術で作られています。黒い点が現れたり、赤や青、緑の点が消えないことがあります。故障ではありません(99.99%またはそれ以上の割合で画面上は正常に動きます)。これらの点は、テープに記録されません。

液晶画面やファインダー、レンズを太陽に向けたままにすると故障の原因になります。窓際や屋外に置くときはご注意ください。

本書内の写真について

液晶画面やファインダーの映像を説明するのに、スチルカメラによる写真を使っています。実際に見えるものとは異なります。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

- PC/ATは、米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- Macintoshは、Apple Computer Inc.の商標です。
- Windows®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文では™、®マークは明記していません。

とにか
撮つて
見る

準備

撮る

見る

使い
こなす
撮影

使い
こなす
再生

編集
する

お買
い上
げの
設定
を
け

その他

検索
する

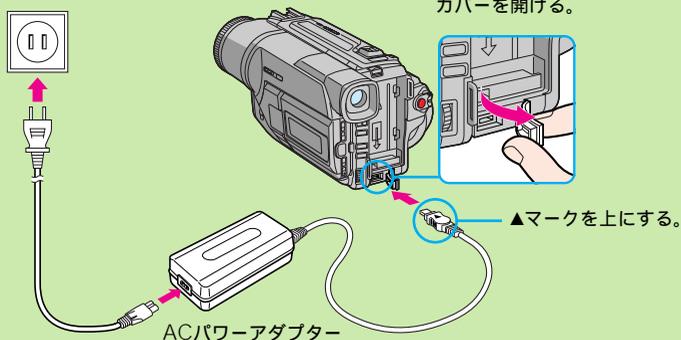
とにかく撮って見る



ここでは本機の使い方を簡単に説明します。
詳しくは()内のページをご覧ください。

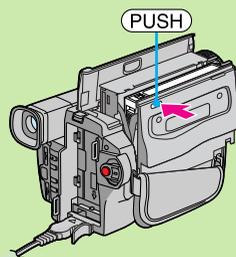
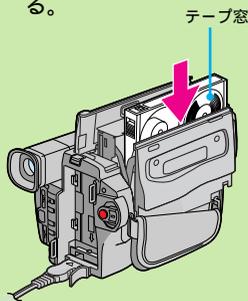
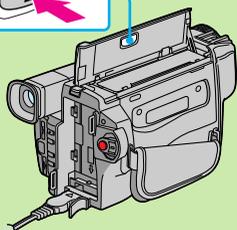
1 電源をつなぐ(10ページ)

屋外ではバッテリーを 사용합니다 6ページ



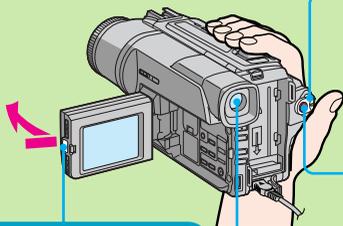
2 カセットを入れる(11ページ)

- 1 カセットぶたを開け、カセット取出しボタンを押す(カセット入れは自動で上がって開きます)。
- 2 テープ窓を外側に、誤消去防止ツマミを上側にしてカセットを入れる。
- 3 (PUSH)マークを押して、カセット入れを閉める(カセット入れは自動で下がります)。カセットぶたを閉める。



3 撮影する(12ページ)

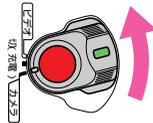
- ① レンズキャップをはずす。



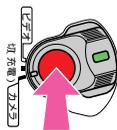
- ③ OPENボタンを押しながら、液晶画面を開ける。
液晶画面に画像が映る。

ファインダー
液晶画面を閉じているときは、この部分に目を当てて画像を見ます。

- ② 緑のボタンを押しながら「カメラ」にする。

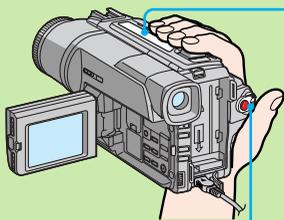


- ④ 赤いボタンを押す。
撮影が始まる。
もう1度押すと止まる。

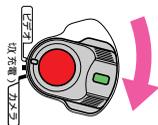


とにかく撮って見る

4 液晶画面で見る(19ページ)



- ① 緑のボタンを押しながら「ビデオ」にする。



- ② ◀◀ 巻戻しを押してテープを巻き戻す。

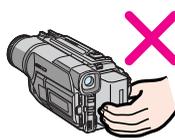


- ③ ▶▶ 再生を押すとテープが再生される。



ご注意

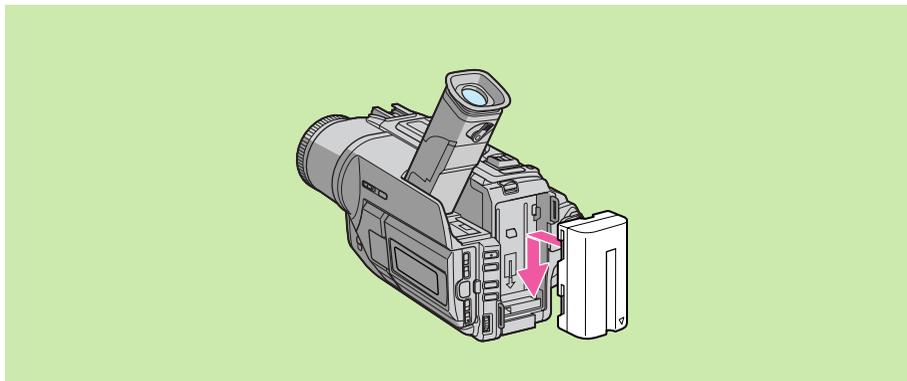
ファインダーや液晶画面またはバッテリーをつかんで、本機を持ち上げないでください。



準備1 電源を準備する

バッテリーを取り付ける

本機を屋外で使用するときは、バッテリーを取り付けます。

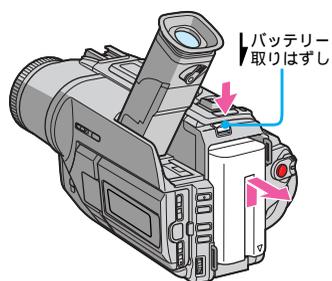


バッテリーを取り付けた後は
バッテリーをつかんで本機を
持ち運ばないでください。

バッテリーを押しながら下へずらす。

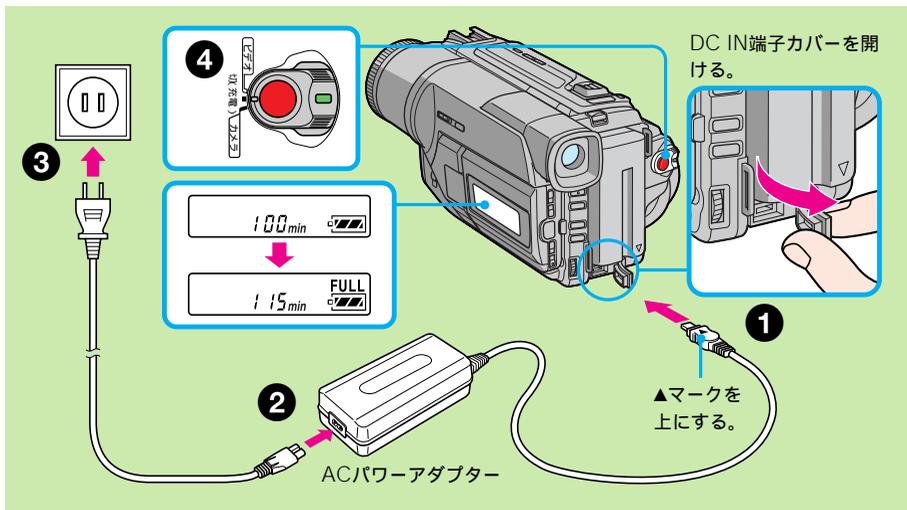
本体から取りはずす

▶バッテリー取りはずしボタンを押しながらバッテリーを
上へずらし、取りはずす。



バッテリーを充電する

バッテリーは充電してからお使いください。本機でバッテリーの充電ができます。本機の電源には、「インフォリチウム」バッテリー（Lシリーズ）を使用します。それ以外のバッテリーはお使いになれません。



ご注意

- ACパワーアダプターのDCプラグを金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。
- バッテリーは水にぬらさないでください。
- バッテリーを使用せずに長期間保管するときは、一度満充電してから使い切り、涼しい場所に保管してください。

満充電になると表示窓のバックライトが消灯します。

表示窓に表示されるバッテリー残量時間はファインダーを使用したときの連続撮影時間の目安です。

バッテリーはお買い上げ時に若干充電されています。

① ACパワーアダプターを本機のDC IN端子につなぐ。
DC IN端子カバーを開け、ACパワーアダプターのプラグの▲マークを上にしてつなぐ。

② 電源コードをACパワーアダプターにつなぐ。

③ 電源コードをコンセントにつなぐ。

④ 電源スイッチを「切(充電)」にする。
充電が始まると、表示窓にバッテリー残量時間が表示される。
充電が終わると、バッテリー残量表示が「」になる(実用充電)。さらに約1時間、「FULL」が表示されるまで充電すると若干長く使える(満充電)。

バッテリーの充電が終わったら
ACパワーアダプターをDC IN端子から抜く。

準備1 電源を準備する(つづき)

バッテリー残量を計算するま
では
表示窓には「----- min」が
表示されます。

充電中の表示窓の表示

以下の場合、正しく表示され
ない、または点滅することが
あります。

- バッテリーが正しく取り付
けられていない。
- ACパワーアダプターが外
れている。
- バッテリーが故障してい
る。

海外でも充電できます

詳しくは74ページをご覧ください。

撮影中のバッテリー残量時間
表示

使用状況や環境によっては、
正しく表示されない場合があ
ります。液晶画面を開閉した
ときは、正しい残量時間(分)
を表示するのに約1分かかり
ます。

バッテリー残量の表示時間が
充分なのに電源がすぐに切れ
るときは
満充電すると正しく表示され
ます。

InfoLITHIUM(インフォリ
チウム)バッテリーとは

“インフォリチウム”バッテ
リーに対応した機器との間
で、バッテリーの使用状況に
関するデータ通信をする機能
を持ったリチウムイオンバッ
テリーです。本機は“インフォ
リチウム”バッテリー(Lシ
リーズ)対応です。それ以外の
バッテリーはお使いになれま
せん。“インフォリチウム”
バッテリーには  InfoLITHIUM
マークがついています。

InfoLITHIUM(インフォリチ
ウム)はソニー株式会社の商
標です。

充電時間

| バッテリー | 満充電時間(実用充電時間) |
|--------------------|---------------|
| NP-F330(付属) | 150(90) |
| NP-F530/CF540/F550 | 210(150) |
| NP-F730/F750 | 300(240) |
| NP-F930/F950 | 390(330) |
| NP-F960 | 420(360) |

使い切ったバッテリーを充電したときの時間(約 分)

撮影時間

| バッテリー | ファインダーで撮影 | | 液晶画面で撮影 | |
|-------------|-----------|----------|----------|----------|
| | 連続撮影時* | 実撮影時** | 連続撮影時* | 実撮影時** |
| NP-F330(付属) | 115(100) | 65(55) | 90(80) | 50(45) |
| NP-F530 | 195(170) | 110(95) | 150(135) | 85(75) |
| NP-CF540 | 225(200) | 130(115) | 175(100) | 160(90) |
| NP-F550 | 230(200) | 130(115) | 185(165) | 105(95) |
| NP-F730 | 395(355) | 225(200) | 305(275) | 170(155) |
| NP-F750 | 470(425) | 265(240) | 375(335) | 210(190) |
| NP-F930 | 625(560) | 355(315) | 480(435) | 270(245) |
| NP-F950 | 725(650) | 410(370) | 570(515) | 325(290) |
| NP-F960 | 850(765) | 480(435) | 680(610) | 385(345) |

満充電(()内は実用充電)してからの時間(約 分)

* 25 で連続撮影したときの時間の目安。低温では使用時間が短くなり
ます。

** 録画、スタンバイ、電源入/切、ズームなどを繰り返したときの撮影
時間の目安。実際にはこれよりも短くなる場合があります。

NP-500/510/710はお使いになれません。

再生時間

| バッテリー | 液晶画面で再生 | 液晶画面を閉じて再生 |
|---------------|-------------|-------------|
| NP-F330(付属) | 90 (80) | 110 (95) |
| NP-F530 | 145 (130) | 185 (165) |
| NP-CF540 | 170 (155) | 215 (190) |
| NP-F550 | 175 (160) | 220 (195) |
| NP-F730 | 300 (270) | 380 (340) |
| NP-F750 | 365 (325) | 455 (410) |
| NP-F930 | 475 (430) | 600 (540) |
| NP-F950 | 555 (500) | 700 (630) |
| NP-F960 | 660 (590) | 820 (735) |

満充電(() 内は実用充電) してからの時間(約 分)

低温では使用時間が短くなります。

NP-500/510/710はお使いになれません。

準備1 電源を準備する(つづき)

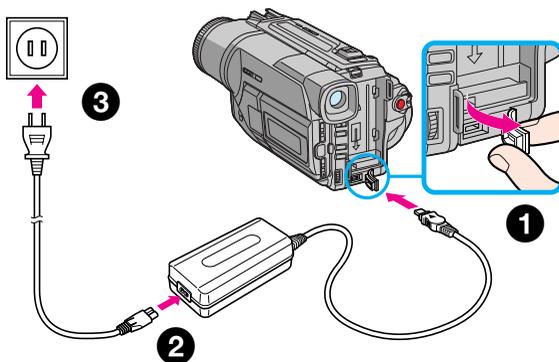
コンセントにつないで使う

ご注意

- バッテリーをつけたままでもお使いいただけます。
- 電源供給はDC IN端子が優先されます。バッテリーで使用するとき、コンセントから電源コードを抜いても、DC IN端子にコードが差し込まれているとバッテリーから電源は供給されません。

自動車の電源では別売りのDCパワーアダプター/チャージャーでお使いになります。

テープを再生するときなど長時間使用するときには、家庭用のコンセントを使うとバッテリー切れの心配なく使えます。



- 1 ACパワーアダプターを本機のDC IN端子につなぐ。

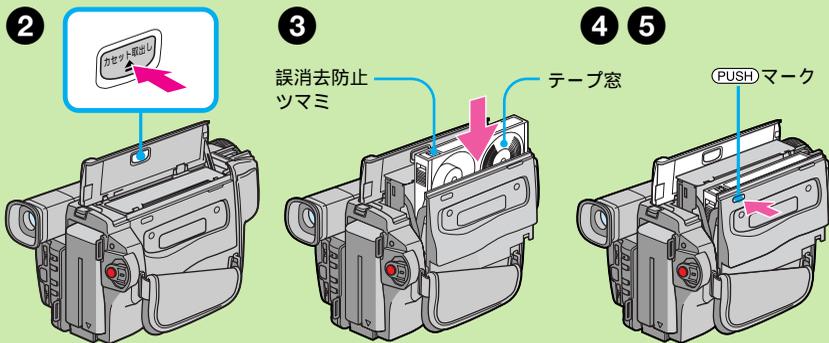
DC IN端子カバーを開け、ACパワーアダプターのプラグの▲マークを上にしてつなぐ。

- 2 電源コードをACパワーアダプターにつなぐ。

- 3 電源コードをコンセントにつなぐ。

準備2 カセットを入れる

Hi8/DマークのついたHi8(ハイエイト)/Digital8(デジタルエイト)テープをおすすめします。

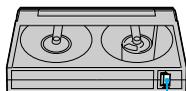


ご注意

- カセット入れを無理に下げないでください。故障の原因になります。
- 本機での撮影方式はデジタルエイト方式です。
- 録画時間はSPモードでHi8テープに表示してある時間の半分、LPモードで3/4になります。
- スタンダード8ミリテープを使用して本機で撮影した場合、本機以外(他のDCR-TRV220Kを含む)での再生時にモザイク状のノイズが現れることがあります。
- (PUSH)マーク以外を押しているとカセット入れが閉まらないことがあります。
- カセットぶたをつかんで本機を持ち上げないでください。



間違っても消さないためにカセットの背にある誤消去防止ツマミを横にずらし「赤」にします。



録画できない (誤消去防止状態) 録画できる

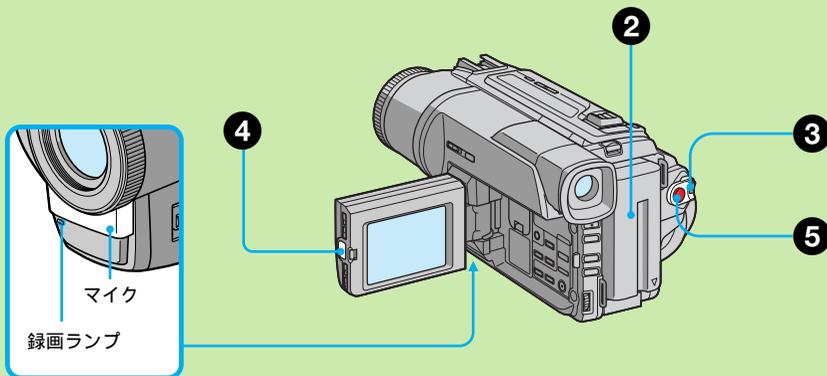
- 電源を準備する。(6ページ)
- カセットぶたを開けカセット取出しボタンを押す。
カセット入れが自動的に上がって開く。
- カセットを入れる。
テープ窓を外側に、誤消去防止ツマミを上にして入れる。
- (PUSH) マークを押して、カセット入れを閉める。
カセット入れが自動的に下がる。
- カセットぶたを閉める。

カセットを取り出す

「カセットを入れる」の手順で操作し、手順3で取り出す。

撮影する

ピント合わせも自動で、簡単に撮影できます。



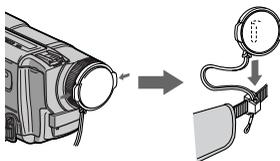
ご注意

- グリップベルトをしっかりしめてください。
- マイクに手が触れないようにしてください。

長時間録画したいときにはメニューの「録画モード」を「LP」にします(55ページ)。録画時間がSP(標準)モードの1.5倍になります。本機のLPモードで録画したテープは本機で再生することをおすすめします。

きれいなつなぎ撮りのためにカセットを取り出さない限り、きれいにつながります。バッテリーの交換時は電源スイッチを「切(充電)」にしてください。

- 1 レンズキャップを取りはずし、グリップベルトに取り付ける。



- 2 バッテリーなどの電源を付け、カセットを入れる。

「準備1、2」(6~11ページ)をご覧ください。

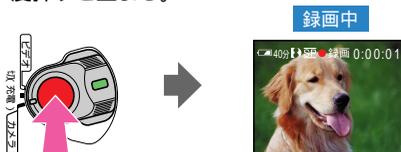
- 3 緑のボタンを押しながら「カメラ」にする。撮影スタンバイになる。



撮影スタンバイが3分以上続くと自動的に電源が切れます。これはバッテリーの消費を防ぎ、テープを保護するためです。再び撮影を始めるには、電源スイッチを1度「切(充電)」にしてから「カメラ」に戻します。

4 OPENボタンを押しながら液晶画面を開ける。
ファインダーの画像は消える。

5 スタート/ストップボタンを押す。
撮影が始まり、「●録画」の表示が出る。録画ランプが点灯する。
もう一度押すと止まる。



ご注意

液晶画面を開いているときは、ファインダーには画像が映りません。ただし、対面撮影中はファインダーにも画像が映ります。

液晶画面は屋外では日差しの加減で見えにくい場合があります。ファインダーでの撮影をおすすめします。

対面撮影では液晶画面に映る画像は鏡のように左右が反転しますが、記録される画像は実際の被写体と同じになります。

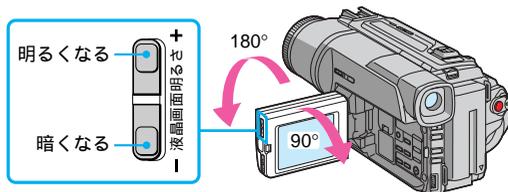
対面撮影中はリモコンのゼロセットメモリーボタンは働きません。

対面撮影中の表示
撮影スタンバイ中は●●、撮影中は●が表示されます。その他の表示は左右が反転します。表示が出ないものもあります。

液晶画面を調整する

液晶画面の明るさは、液晶画面明るさボタンを押して調節します。また液晶画面はレンズの方向に180°まで、ファインダーの方向に90°まで回転し、角度を調節できます。

液晶画面を180°回転させると、液晶画面とファインダーにも☺が出ます。(対面撮影モード)



液晶画面を閉じるときは、液晶画面をカチッというまで垂直にしてから本体に戻します。

撮影が終わったら

- 1 電源スイッチを「切(充電)」にする。
- 2 液晶画面を閉じる。
- 3 カセットを取り出す。

撮影する(つづき)

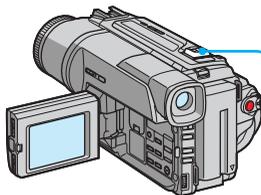
デジタルズームについて

- デジタルズームを使うと、ズーム倍率は100倍までになります。
- 画像をデジタル処理するため画質が低下します。

近くのものにピントがうまく合わないときはズームレバーをW側に動かして広角にします。ピントが合うのに必要な被写体との距離は、W側では約1cm以上、T側では約80cm以上です。

ズームする

ズームレバーを動かす。



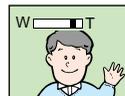
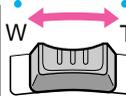
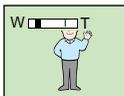
軽く動かすとゆっくりズームし、さらに動かすと速くズームする。使いすぎると見づらい作品になります。

被写体が小さくなる

ワイド
(広角: Wide)

被写体が大きくなる

テレフォト
(望遠: Telephoto)



25倍を超えるズームはデジタルズームになります。デジタルズームを使うには、メニューで「デジタルズーム」の倍率を選択してください。(55ページ)

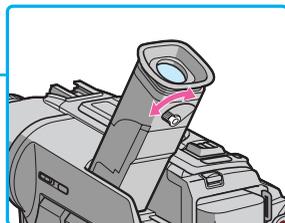
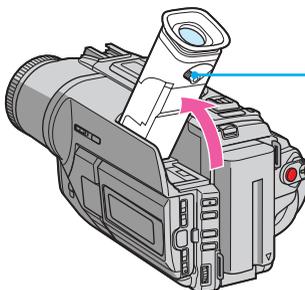
このラインよりT側がデジタルズームになります。メニューで「デジタルズーム」の倍率を選ぶと表示されます。



ファインダーで撮影する - 視度調整

液晶画面を閉じて撮影するときは、ファインダーで画像を見ます。自分の視力に合わせてファインダー内の文字がはっきり見えるように、調整します。

ファインダーを上げて、視度調整つまみを動かす。



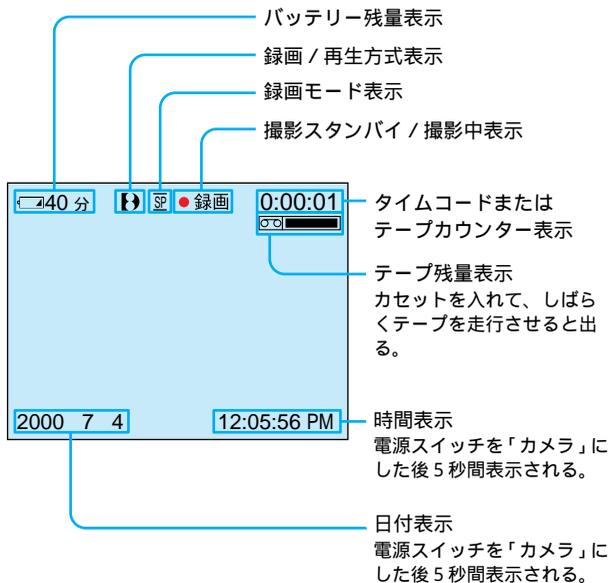
タイムコードについて
(Digital8方式で記録された
テープのみ)

液晶画面またはファインダー
にテープ走行時間が「0:00:
00(時:分:秒)」と出ます。ビ
デオモードのときには「0:
00:00:00(時:分:秒:フレー
ム)」と出ます。あとからこの
タイムコードだけを書き直す
ことはできません。

Hi8/スタンダード8ミリ方式
で記録されたテープを再生す
ると、テープカウンターが表
示されます。本機でカウン
ターリセットすることはでき
ません。

撮影中の表示

これらの表示はテープには記録されません。



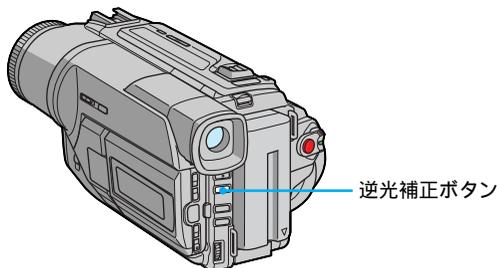
逆光補正をする

逆光補正中に明るさボタンを
押すと
逆光補正は解除されます。

被写体のうしろに光源があり、被写体が暗く映る時などに明る
さの補正をします。

[撮影スタンバイ中]または[撮影中]に逆光補正ボタンを
押す。

液晶画面またはファインダーに逆光補正表示図が出ます。
逆光補正ボタンをもう一度押すと解除されます。



撮影する(つづき)

暗闇で撮る - NIGHTSHOT(ナイトショット)/ SUPER NIGHTSHOT(スーパーナイトショット)

ご注意

- 昼間の屋外の明るいところではお使いにならないでください。故障の原因になります。
- NIGHTSHOTで撮影中の画像は、正しい色が表現されません。
- NIGHTSHOT時、オートフォーカスが合いにくい時は、マニュアルフォーカスをご使用ください。

NIGHTSHOT中は以下の操作ができません

- 明るさ調節
- プログラムAE

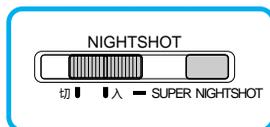
夜間に動植物を観察するときやキャンプなど、暗い場所で撮影することができます。

[撮影スタンバイ中]または[撮影中]にNIGHTSHOTスイッチを「入」にする。

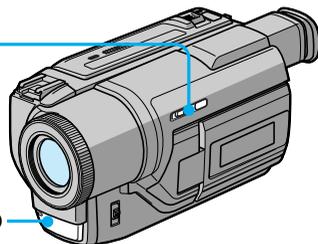
液晶画面またはファインダーにNIGHTSHOT表示  と“NIGHTSHOT”が点滅します。

NIGHTSHOTスイッチを「切」にすると解除されます。

NIGHTSHOTスイッチ



赤外線 (NIGHTSHOTライト) 発光部



SUPER NIGHTSHOT時のシャッタースピードは明るさによって自動的に変わります。このとき画像の動きは遅くなります。

SUPER NIGHTSHOT中は以下の操作ができません

- フェーダー
- デジタルエフェクト
- 明るさ調節
- プログラムAE

NIGHTSHOTライトは赤外線のため、目には見えません。ライトの届く範囲は約3mです。

SUPER NIGHTSHOT (スーパーナイトショット)を使う

SUPER NIGHTSHOTボタンを使うと、NIGHTSHOTの最大16倍の感度で被写体を明るく撮影することができます。

- 1 [撮影スタンバイ中]または[撮影中]にNIGHTSHOTスイッチを「入」にする。

液晶画面またはファインダーに☉と“NIGHTSHOT”が点滅します。

- 2 SUPER NIGHTSHOTボタンを押す。

液晶画面またはファインダーにS☉と“SUPER NIGHTSHOT”が点滅します。

SUPER NIGHTSHOTボタンをもう一度押すと解除されます。

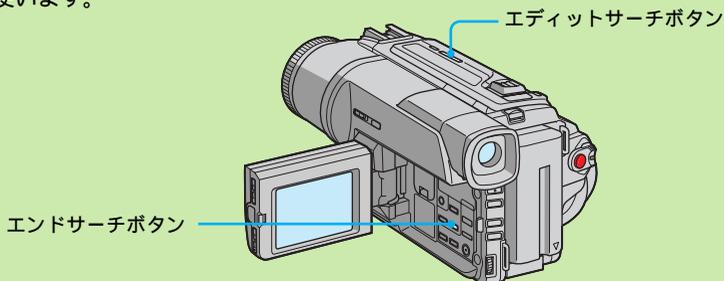
NIGHTSHOTライトを使う

NIGHTSHOTライトを使うと画像がよりはっきりします。メニューで「N.S.ライト」を「入」にします。(55ページ)

次の撮影開始点を探す

- エンドサーチ / エディットサーチ / レックレビュー

撮った画面が気になるときや、最後に撮影した画面からつなぎ撮りしたいときに使います。



ご注意

- Digital8方式以外で記録したテープでは、エンドサーチ / エディットサーチ / レックレビューはできません。
- エンドサーチをしてからつなぎ撮りをすると、まれに場面がきれいに繋がらないことがあります。
- 撮影後、カセットを取り出すとエンドサーチは動きません。

テープの途中で記録されていない部分があるとエンドサーチが正しく働かない場合があります。

エンドサーチ

最後に撮影した終わりの部分に戻ります。

[撮影スタンバイ中]にエンドサーチボタンを押す。

エンドサーチ



最後に撮影した終わりの部分の約5秒間が再生されて、撮影スタンバイに戻る。
スピーカーまたはヘッドホンで音も確認できる。

エディットサーチ

次の撮影開始点を探します。

[撮影スタンバイ中]にエディットサーチ + / - ボタンを押し続ける。画像が再生される。

正方向 逆方向



+ : 場面を進める

- : 場面を戻す

指を離れたところが、次の撮影開始点になる。音は出ない。

レックレビュー

最後の場面を確認します。

[撮影スタンバイ中]にエディットサーチボタンの - 側をポンと1回押す。

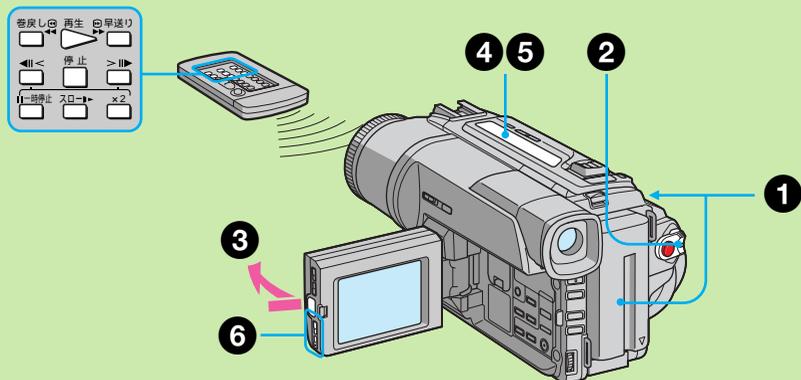


テープを停止させた部分が数秒間再生され、撮影スタンバイに戻る。

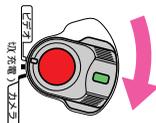
スピーカーまたはヘッドホンで音も確認できる。

再生する

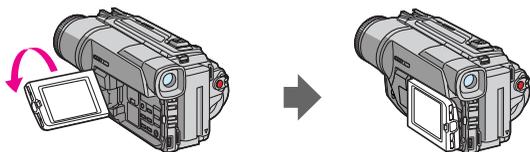
撮影したテープなどを液晶画面で見ます。液晶画面を閉じるとファインダーでも見られます。リモコンでも操作できます。



- 1 バッテリーなどの電源を付け、再生したいカセットを入れる。
- 2 緑のボタンを押しながら、「ビデオ」にする。ビデオ操作ボタンが点灯する。



- 3 OPENボタンを押しながら、液晶画面を開ける。
液晶画面を外側に向けて本体に閉じることもできます。



180°回転させる。

閉じる。

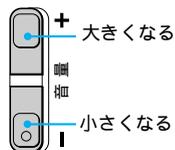
- 4 ◀◀巻戻しボタンを押す。
巻き戻しが始まる。
- 5 ▶▶再生ボタンを押す。
画像が映る。



見る

再生する(つづき)

- 6** 音量ボタンを押して、音量を調節する。
液晶画面を閉じているときは、音が出ません。



再生を止める

■停止ボタンを押す。

ご注意

Digital8方式以外で記録したテープではデータコードは表示されません。

カメラデータとは撮影したときのビデオカメラの設定の情報です。撮影中は表示されません。

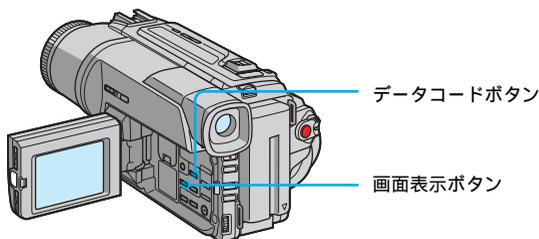
次のときは、「---- --」
「--:--:--」を表示します。

- 何も記録されていない部分
- テープの傷やノイズなどでデータコードを読み取れない
- 日付・時刻を合わせないで撮影したテープ

データコードは本機をテレビにつないだときはテレビ画面で確認することができます。

テープカウンターなどの表示を出す - 画面表示機能

本体またはリモコンの画面表示ボタン押す。
液晶画面に表示が出る。消すときはもう1度押す。



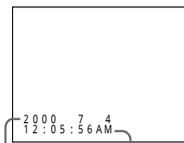
データコードについて

本機は撮影時の日付・時刻およびカメラデータを自動的に画像とは別にテープに記録しています(データコード機能)。

[再生中]に、本体またはリモコンのデータコードボタンを押す。押すたびに次のように表示が変わります。

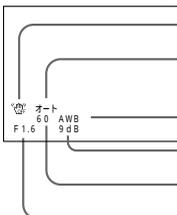
「日付表示」「カメラデータの表示」(表示なし)

日付表示



日付表示 時刻表示

カメラデータの表示



- 手ぶれ補正「切」表示
- 明るさ調節オート/マニュアル表示
- ホワイトバランスモード表示
- ゲイン表示
- シャッタースピード表示
- 絞り値表示

カメラデータを表示させないようにする

メニューの「データコード」で「日付データ」を選ぶ。(55ページ)
データコードボタンを押すたびに次のように表示が変わります。
「日付表示」↔(表示なし)

ご注意

変速再生中は

- Digital8 \Rightarrow 方式以外で記録したテープで変速再生するとノイズが出ます。
- 音声は出ません。
- 前の映像がモザイク状に残ることがあります。
(Digital8 \Rightarrow 方式再生時)

一時停止(静止画)について

- 3分以上続けると自動的に停止状態になります。再生するときは、もう1度▶再生ボタンを押します。
- 前の画像が残ることがあります。

Digital8 \Rightarrow 方式のスロー再生について

本機にはスロー画像をなめらかに再生する機能があります。ただし、DV入力/出力端子から出力される信号にはこの機能は働きません。

逆方向再生について

画面の上下や中央に横縞が入ることがありますが、故障ではありません。

いろいろな再生

電源スイッチが「ビデオ」のときに操作します。

静止画を見る

[再生中]に \parallel 一時停止ボタンを押す。

▶再生ボタンまたは \parallel 一時停止ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

早送りする

[停止中]に▶▶早送りボタンを押す。

▶再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

巻き戻す

[停止中]に◀◀巻き戻しボタンを押す。

▶再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

逆方向に再生する

[再生中]にリモコンの<ボタンを押す。

▶再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

画像を見ながら早送り/巻き戻しする(ピクチャーサーチ)

[再生中]に▶▶早送り/◀◀巻き戻しボタンを押し続ける。

離すと、ふつうの再生に戻る。

早送り/巻き戻し中に画像を見る(高速アクセス)

[早送り中]または[巻き戻し中]に▶▶早送り/◀◀巻き戻しボタンを押し続ける。

離すと、早送りまたは巻き戻しに戻る。

スロー画を見る

[再生中]にリモコンの \parallel スローボタンを押す。

逆方向にスロー再生するときは、リモコンの<ボタンを押してから \parallel スローボタンを押す。

▶再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

2倍速で見る(倍速再生)

[再生中]にリモコンのX2ボタンを押す。

逆方向に倍速再生するときは、リモコンの<ボタンを押してからX2ボタンを押す。

▶再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

コマ送りで見ると

[再生一時停止中]にリモコンの \parallel ▶ボタンを押す。

逆方向にコマ送りするときは、◀ \parallel ボタンを押す。

▶再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

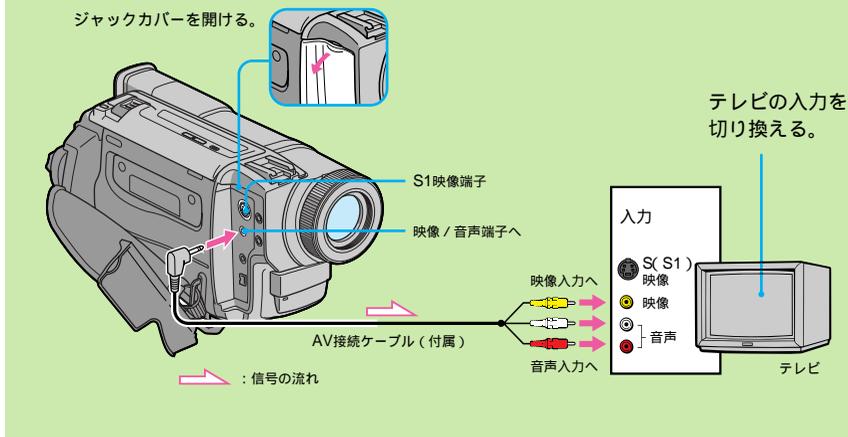
最後に撮影した部分を探す(エンドサーチ)

[停止中]にエンドサーチボタンを押す。

最後に撮影した終わりの部分を約5秒間再生して止まる。

テレビで見る

撮影したテープなどをテレビで見るときは、本機を付属のAV接続ケーブルでつなぎます。再生のしかたは液晶画面で見るときと同じです。電源は付属のACパワーアダプターを使って、コンセントからとることをおすすめします(10ページ)。接続する機器の取扱説明書もご覧ください。



別売りのS映像ケーブルを使うと

再生画像がより鮮明になります。テレビにS(S1)映像端子がついているときは、AV接続ケーブルの黄色い端子(映像)のかわりに別売りのS映像ケーブルで、本機のS1映像端子とテレビのS(S1)映像端子を接続することをおすすめします。

すでにテレビにビデオがつながっているとき

本機をビデオの外部入力端子につなぐ。

ビデオの入力切り換えスイッチは「外部入力(ライン)」にしてください。

音声入力端子がひとつ(モノラル)のテレビにつなぐとき

AV接続ケーブル(付属)の黄色いプラグを映像入力へ、白いプラグか赤いプラグのどちらかを音声入力へつなぐ。

音声は白いプラグをつなぐと左音声、赤いプラグをつなぐと右音声が聞こえます。

モノラル音声で聞くとときは別売りの接続ケーブルをお使いください。

SUPER LASER AVLINK
別売りのAVコードレスIRレシーバーIFT-R20との組み合わせで最大距離が従来比*約60%アップ、またノイズレベル約40%減を実現しています。

* LASER AVLINK搭載ビデオカメラとIFT-R10との組み合わせ時

ソニー製のテレビの場合は

- 電源について
本機のSUPER LASER AVLINKボタンを押すと、自動的にテレビの電源が入ります。あらかじめ下記の操作をしておいてください。
 - テレビの主電源を入れる。
 - 本機のメニューで「オートTVオン」を「入」にする。
 - 本機の赤外線発光部をテレビのリモコン受光部に向けておく。
- 入力について
本機のメニューで「オートTVオン」を「入」に設定し、「TV入力切りかえ」をIRレシーバーをつないだテレビの入力端子(ビデオ1/2/3)と同じに設定すると、テレビの入力も自動的に切り換わります(テレビによっては、切り換わる時に一瞬画像や音声がとぎれることがあります)。
- 機種によっては操作できないことがあります。

SUPER LASER AVLINKを使うと
バッテリーの使用時間が短くなりますので、使わないときはSUPER LASER AVLINKを解除しておいてください。

電源スイッチを「切(充電)」にすると自動的に解除されます。

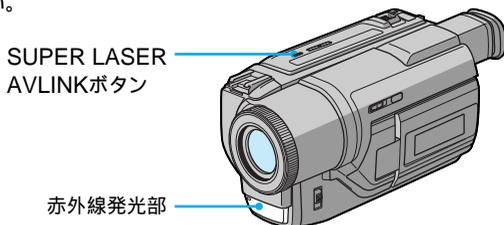


はソニー(株)の商標です。

ケーブルを使わずに見る - SUPER LASER AVLINK

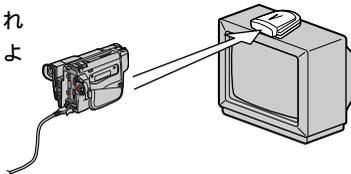
別売りのAVコードレスIRレシーバーをテレビにつないでみると、ケーブルを接続しなくても本機で再生した画像をテレビで見られます。

詳しくはAVコードレスIRレシーバーの取扱説明書をご覧ください。



ACパワーアダプターなどの電源を付け、再生したいカセットを入れておいてください。

- 1 テレビにIRレシーバーをつなぎ、IRレシーバーの電源を入れる。
- 2 テレビの電源を入れ、テレビ/ビデオ切り換えスイッチを「ビデオ」にする。
- 3 本機の電源スイッチを「ビデオ」にする。
- 4 SUPER LASER AVLINKボタンを押す。
ボタンのランプが点灯する。
- 5 本機の▶再生ボタンを押す。
再生が始まる。
- 6 本機とIRレシーバーの向きを合わせる。
再生中の画像がきれいにテレビに映るようになる。



SUPER LASER AVLINKを解除する

SUPER LASER AVLINKボタンを押して、ボタンのランプを消す。

テープに静止画を撮る - テープフォト撮影

Hi8 Hi8/Digital8 **▶**テープに静止画を記録
できます。
SPモードで60分記録できるテープなら、
SPモードで約510枚、LPモードで約765枚
撮れます。

いつ
使う?

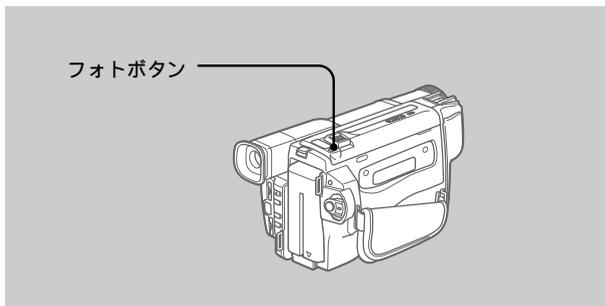
- 後からテレビやモニターで記念写真
のように見たいとき
- ビデオプリンターでプリントしたい
とき、など。

ご注意

- テープフォト撮影中はモー
ドや設定を変更することは
できません。
- 以下の設定中や操作中は、
テープフォト撮影ができま
せん。
 - フェーダー
 - デジタルエフェクト
- 静止画を記録しているとき
は、本機を振らないくださ
い。モザイク状のノイズ
が出ることがあります。

リモコンのフォトボタンで撮
影すると
押したときに液晶画面または
ファインダーに映っている画
像が記録されます。

カメラ録画中にテープフォト
撮影するとき
はフォトボタンを軽く押して画
像を確認することができませ
ん。フォトボタンを強く押し
込んでください。約7秒間静
止画を記録したあと、撮影ス
タンバイに戻ります。
7秒間テープフォト撮影をし
ている間は他の静止画を選べ
ません。



1

[撮影スタンバイ中]に

フォトボタンを軽く押したまま画像を確認する。

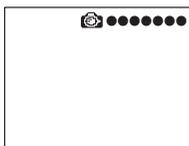


画像が静止画になり、キャプチャー
表示が出る。
このとき録画はされません。

画像を選びなおすときはフォトボタンを離してからもう
1度軽く押す。

2

フォトボタンを強く押し込む。



録画中は1秒ごとに赤い丸が消えて
いく。

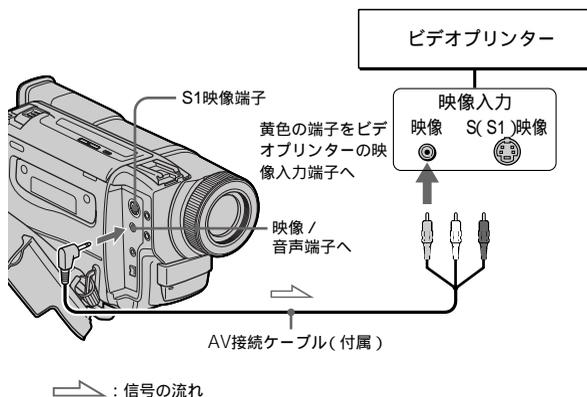
ボタンを押し込んだときの画像が約7秒間静止画で記録
される。記録中の音声も同時に録音される。

記録中に液晶画面またはファインダーに映る画像は静止
画となります。

ビデオプリンターにS(S1)映像入力端子がついているときは別売りのS映像ケーブルでつなぐと、プリント画像がより鮮明になります。

静止画を別売りのビデオプリンターでプリントする

本機と別売りのビデオプリンターを使うとビデオプリンターに画像を取り込みプリントできます。



ビデオプリンターの取扱説明書もあわせてご覧ください。

横長の画面にする - ワイドTVモード

ワイドテレビでご覧になるときに、画面いっぱいに映るように撮影できます。接続するテレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

ワイドTVモード
で撮影



液晶画面/
ファインダー



通常のテレビで
再生



ワイドテレビで
再生



テレビをフルモードに
切り換える



画像が縦長になります。

ワイドTVモード中は
以下の操作はできません。

- オールドムービー
- パウンド

録画中は

ワイドTVモードを選んだり、解除したりできません。ワイドTVモードを解除するときは、必ず撮影スタンバイにしてから、メニューで「ワイドTV」を「切」にしてください。

テレビの接続について

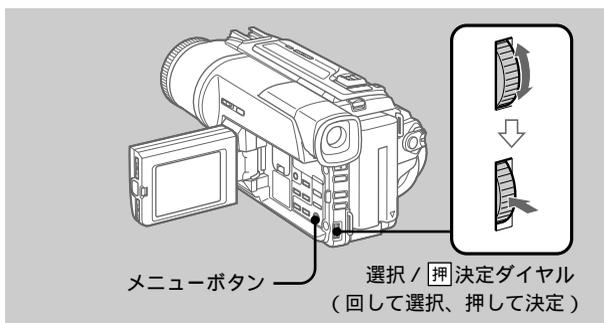
下記の接続のとき、ワイドTVモードで記録した画像を再生すると、画像は自動的にフルモードに切り換わります。

- ビデオIDシステム (ID-1/ID-2)方式対応のテレビと接続したとき。
- テレビのS1映像入力端子に接続したとき。

ID-2方式とは

ID-1方式に加え著作権保護のための信号をアナログ接続において行うためのシステムです。

「ワイドTV」を「入」にすると手ぶれ補正は働きません。手ぶれ補正が働いているときにメニューで「ワイドTV」を「入」にすると Ⓢ が点滅し、手ぶれ補正は動かなくなります。



[撮影スタンバイ中]に
メニューで「ワイドTV」を「入」にする。
(55ページ)

ワイドTVモードを解除する

メニューで「ワイドTV」を「切」にする。

効果的な場面転換をする - フェーダー

余韻を残して場面を変えたり徐々に画像と音を出したり(フェードイン) 逆に徐々に消

したり(フェードアウト)して効果的な場面転換を演出できます。

フェードイン

フェーダー



モザイクフェーダー



バウンド¹⁾²⁾



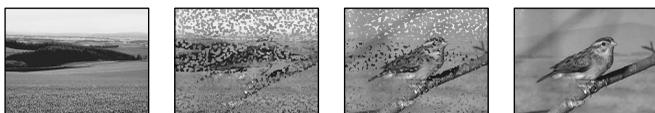
オーバーラップ²⁾



ワイプ²⁾



ドットフェーダー²⁾
(ランダムドット)



フェードアウト

モノトーンフェーダー

フェードインは白黒からカラーに、
フェードアウトはカラーから白黒になります。

使いこなすー撮影ー

¹⁾ メニューで「デジタルズーム」が「切」になっているときに使えます。

²⁾ フェードインのみ

効果的な場面転換をする - フェーダー(つづき)

ご注意

- Digital8方式以外で記録したテープでは、オーバーラップ、ワイブ、ドットフェーダーはできません。
- フェード中には以下の操作ができません。また以下の操作中にはフェードイン・フェードアウトはできません。
 - デジタルエフェクト
 - プログラムAEのキャンセルモード(オーバーラップ、ワイブまたはドットフェーダーのみ)
 - SUPER NIGHTSHOT
 - テープフォト撮影

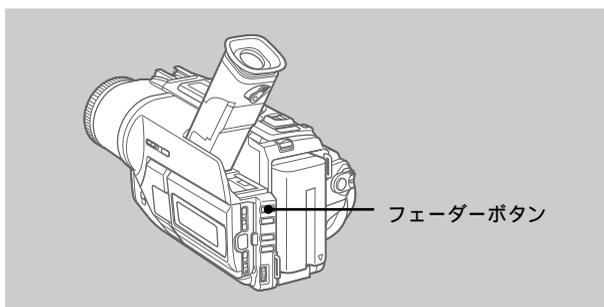
「オーバーラップ」、「ワイブ」または「ドットフェーダー」を選ぶと本機が自動的に動作し、テープ上の画像を記憶します。記憶中は、表示が早い点滅になり、再生画が出ます。このときテープの状態によっては、きれいな画像が取り込めないことがあります。

バウンド中には以下の操作ができません

- フォーカス
- ズーム
- ピクチャーエフェクト

以下の操作中にはバウンドが表示されません

- メニューの「デジタルズーム」で倍率を選択しているとき
- ワイドTVモード
- ピクチャーエフェクト
- プログラムAE



- 1 • フェードインは[撮影スタンバイ中]に
• フェードアウトは[撮影中]に
フェーダーボタンを押して希望のモードを選ぶ。



押すたびに変わります。
フェーダー モザイクフェーダー バウンド
モノトーンフェーダー オーバーラップ
ワイブ ドットフェーダー

表示は前回使ったモードから表示されます。

- 2 スタート/ストップボタンを押す。

フェーダーモード表示が点滅から点灯に変わり、フェード終了後に消える。フェードイン、フェードアウトはフェード終了後に自動的に解除される。

フェードイン・フェードアウトを解除する

スタート/ストップボタンを押す前に再度フェーダーボタンを押し、表示を消す。

画像に特殊効果を加える - ピクチャーエフェクト

画像にデジタル処理をして、テレビや映画のような特殊効果を加えられます。



ネガアート
写真のネガフィルムのように



ソラリ
明暗をはっきりさせたイラストのように



スリム
縦に引き伸ばしたように



ストレッチ
横に引き伸ばしたように



パステル
淡い色のパステル画のように

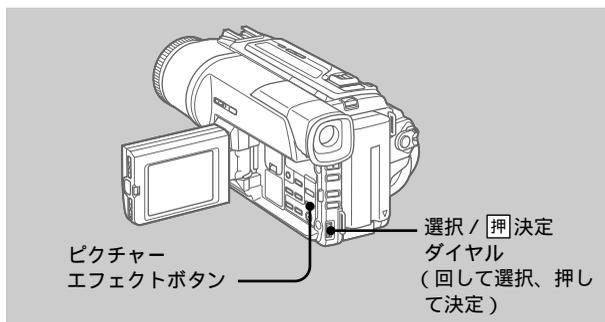


モザイク
タイルを組み合わせたように

セピア 古い写真のような色合いに モノトーン 白黒に

ピクチャーエフェクト中は
オールドムービーは選べません。

電源スイッチを「切(充電)」
にすると
ピクチャーエフェクトは自動的に解除されます。



1 [撮影スタンバイ中]または[撮影中]にピクチャーエフェクトボタンを押す。
ピクチャーエフェクト表示が出る。

2 選択 / 押決定ダイヤルを回して希望のモードを選ぶ。

ネガアート

次の順で変わります。
ネガアート ↔ セピア ↔ モノトーン ↔ ソラリ ↔
スリム ↔ ストレッチ ↔ パステル ↔ モザイク

ピクチャーエフェクトを解除する

ピクチャーエフェクトボタンを押し、表示を消す。

使いこなすー撮影ー

特殊な演出を加えて撮る - デジタルエフェクト

デジタル機能を使って撮影画像にさまざまな演出を加えることができます。音声はそのまま録音されます。

スチル

あらかじめ取り込んだ静止画に、動画を重ねて撮影する。

フラッシュ(フラッシュモーション)

コマ送り撮影をする。

ルミキー(ルミナンスキー)

あらかじめ取り込んだ静止画の明るい部分に、動画をはめ込む。

トレイル

被写体の動きが、尾を引くように撮影する。

スローシャッター

シャッタースピードを遅くする。暗いところで撮影しやすい。画像はザラつくこともあります。

オールドムービー

画面は横長、画像はセピア、シャッタースピードを遅くして、昔の映画のように撮影する。

(スチル)

静止画



動画



(ルミキー)

静止画



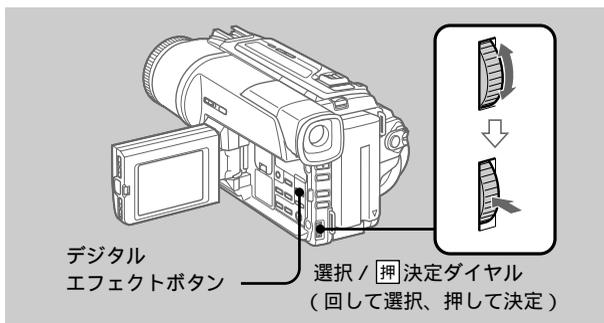
動画



ご注意

- デジタルエフェクト操作中は以下の操作ができません。
 - フェーダー
 - プログラムAEのキャンセルモード
 - テープフォト撮影
 - SUPER NIGHTSHOT
- スローシャッターを選ぶと以下の操作ができません。
 - 明るさ調節
 - プログラムAE
- オールドムービーを選ぶと以下の操作ができません。
 - 明るさ調節
 - ワイドTVモード
 - ピクチャーエフェクト
 - プログラムAE

電源スイッチを「切(充電)」にするとデジタルエフェクトは自動的に解除されます。



- 1 [撮影スタンバイ中]または[撮影中]にデジタルエフェクトボタンを押す。デジタルエフェクト表示が出る。

- 2 選択/押決定ダイヤルを回して希望のモードを選ぶ。



次の順で変わります
スチル↔フラッシュ↔ルミキー↔トレイル
↔スローシャッター↔オールドムービー

スローシャッターでは自動でピントが合いにくくなることがあります。三脚などに固定して、手動でピントを合わせてください。

スローシャッターのシャッタースピードは

| 表示 | シャッタースピード |
|-----------|-----------|
| スローシャッター1 | 1/30 |
| スローシャッター2 | 1/15 |
| スローシャッター3 | 1/8 |
| スローシャッター4 | 1/4 |

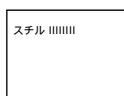
3 選択 / [押] 決定ダイヤルを押して決定する。

表示が点滅から点灯に変わり、バーが表示される。スチルとルミキーでは、押したときの画像が静止画として記憶される。

4 選択 / [押] 決定ダイヤルを回して、効果を調節する。

調節する内容は以下の通り。

| | |
|----------|-------------------------------|
| スチル | 撮影中の動画の背景にある静止画の映り具合。 |
| フラッシュ | フラッシュの間隔。 |
| ルミキー | 静止画の、動画を取り込む部分の明るさの度合い。 |
| トレイル | 残像が残る時間。 |
| スローシャッター | シャッタースピード。 数字を大きくするほど遅くなる。 |
| オールドムービー | 調節は必要ない。 |



バー表示。大きくするほど効果が大きくなる。次のデジタルエフェクトで表示される。スチル、フラッシュ、ルミキー、トレイル。

デジタルエフェクトを解除する

デジタルエフェクトボタンを押し、表示を消す。

撮影状況に合わせて撮る - プログラムAE

被写体や撮影状況により適した調節を自動的に
に行います。



スポットライトモード
結婚式や舞台など、強い光が当たっている被写体を撮影するときには人物の顔などが白く飛んでしまうのを防ぎます。



サンセット&ムーンモード
夕焼け、夜景、花火、ネオンサインを撮影するときに、雰囲気を損なわずに撮影することができます。



ソフトポートレートモード
人物、花などを撮影するときに背景をぼかして被写体を引き立てると同時に、ソフトな印象の映像になるようにします。



風景モード
山などの遠くの景色を撮影するときに景色をはっきりさせ、風景を窓ガラスや金網越しに撮影する場合、手前のガラスや金網にピントが合うのを防ぎます。



スポーツ&アクションモード
ゴルフ、テニスなどの速い動きを撮影するときに被写体のぶれを少なくします。



キャンドルモード
暗い場所でも、被写体を明るく撮影することができます。



ビーチ&スキーモード
真夏の砂浜や、冬山(スキー場)などの照り返しが強い場所で撮影するときに、人物の顔などが暗くなるのを防ぎます。

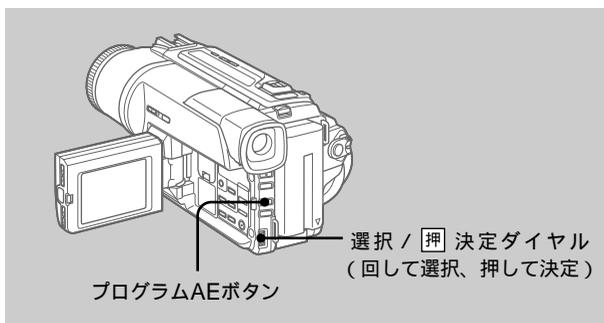
ご注意

- 次のモードでは近くのものにピントが合わないようフォーカスを制御します。
 - スポットライトモード
 - スポーツレックスモード
 - ビーチ&スキーモード
- 次のモードでは遠景のみにピントが合うようフォーカスを制御します。
 - サンセット&ムーンモード
 - 風景モード
- プログラムAE中は以下の操作ができません。
 - スローシャッター
 - オールドムービー
 - バウンド
- キャンドルモード中は以下の操作ができません。
 - デジタルエフェクト
 - オーバーラップ
 - ワイプ
 - ドットフェーダー
 - 明るさ調節
- NIGHTSHOTスイッチを「入」にしているとき、プログラムAEモードは使えません。(表示が点滅します。)

蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯など放電管による照明下で撮影すると

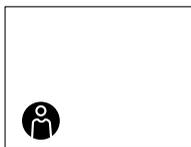
次のモードでは画面が明るくなったりする現象(フリッカー)が起こったり、色が変化することがあります。このような場合にはプログラムAEを解除してください。

- ソフトポートレートモード
- スポーツレックスモード

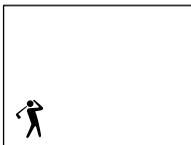


1 [撮影スタンバイ中]または[撮影中]にプログラムAEボタンを押す。

プログラムAEモード表示が出る。



2 選択 / 押 決定ダイヤルを回して希望のモードを選ぶ。



次の順で変わります。
スポットライトモード↔ソフトポートレートモード↔スポーツレックスモード↔ビーチ&スキーモード↔サンセット&ムーンモード↔風景モード↔キャンドルモード

プログラムAEを解除する

プログラムAEボタンを押し、表示を消す。

手動で画像の明るさを調節する

画像をお好みの明るさに手動調節し、固定することができます。

いつも使う?

- 逆光補正を細かく行いたいとき。
- 背景に比べて、被写体が明るすぎる時。
- 夜景を撮りたいとき。

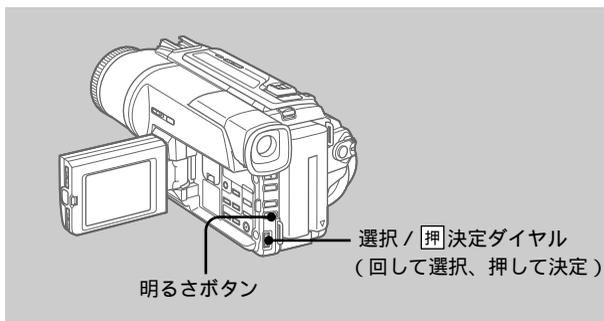
ご注意

明るさ調節しているときは以下の操作はできません。

- 逆光補正
- オールドムービー
- スローシャッター

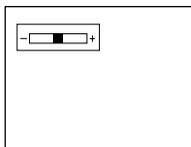
以下のとき、明るさ調節は自動に戻ります

- プログラムAEのモードを変える。
- NIGHTSHOTを「入」にする。



- 1 [撮影スタンバイ中]または[撮影中]に明るさボタンを押す。

明るさ表示が出る。



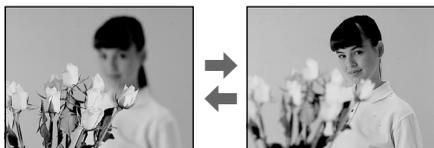
- 2 選択 / 押 決定ダイヤルを回し、明るさを調節する。

自動調節に戻す

明るさボタンを押し、表示を消す。

手動でピントを合わせる

撮影状況に応じて、手動でピント合わせができます。



いつ使う？

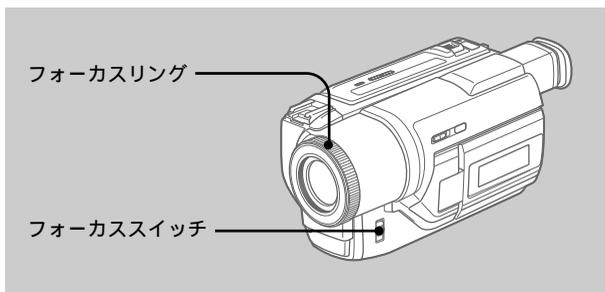
- 自動ではピントが合いにくいとき。
 - 被写体が水滴のついた窓ごしにあるとき
 - 被写体が横縞だけのものとき
 - 被写体と背景とのコントラストが弱いとき
- 手前の被写体から後方の被写体へと、意図的にピントの合う位置を変えるとき。
- 三脚を使い、静止した被写体をピントを固定して撮るとき。

正確にピントを合わせるにはズームをT側(望遠)でピントを合わせたあと、なるべくW側(広角)で撮るようにズームを調節するとピントが合いやすくなります。

近づいて大きく撮るときズームをW側(広角)いっぱいにしてピントを合わせません。

手動でピント合わせをするとき、が次のようなマークに変わります。

- ▲ 無限遠にあるとき。
- それ以上近くにピント合わせをすることができないとき。



- ① [撮影スタンバイ中]または[撮影中]にフォーカススイッチを「手動」にする。
液晶画面またはファインダーに手動ピント合わせ表示が出る。
- ② フォーカスリングを回し、ピントの合う位置を調節する。

自動調節に戻す

フォーカススイッチを「自動」にする。

ピントを無限遠にして撮影する

フォーカススイッチを「無限」に合わせる。ピントは無限遠になり、▲の表示が出る。

指を離すとピント合わせが手動に戻る。

遠くの被写体を撮りたいのに、近くの被写体にピントがってしまうときに使います。

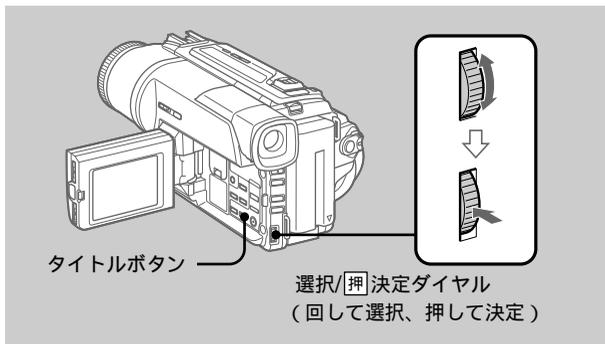
タイトルを入れる

本機にあらかじめ登録してある8種類のタイトルと、自分で作ったオリジナルタイトル2種類(38ページ)の中から選んで、タイトルを入れることができます。また、タイトルの色やサイズ、表示位置も選べます。



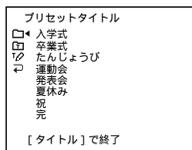
タイトルを入れて撮影中にメニューボタンを押してメニュー画面を表示している間は、タイトルが記憶されません。

オリジナルタイトルを入れるときは手順2で「」を選びます。オリジナルタイトルが作成されていないと、タイトル表示欄に「---...」と表示されません。

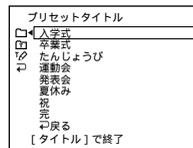
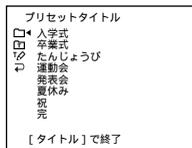


1 [撮影スタンバイ中]に タイトルボタンを押す。

タイトルメニューが表示される。



2 選択/押決定ダイヤルを回して「」を選び、 押して決定する。



設定表示と表示順

「色設定」

しろ↔きいろ↔むらさき
↔あか↔みずいろ↔みどり
↔あお

「サイズ設定」

ちいさい↔おおきい
12文字をこえるタイトルには「おおきい」サイズの設定はできません。12文字をこえるとサイズ決定後、「ちいさい」サイズに戻ります。

「位置設定」

1↔2↔3↔4↔5↔6↔7↔8↔9

大きい数字になるほど位置が下になります。

サイズ設定で「おおきい」を選んだときは、9の位置は選べません。

タイトルの選択/設定操作をしているときは画面に出ているタイトルは記録できません。

撮影の途中でタイトルを入れるときはおしらせブザーは鳴りません。

再生中に

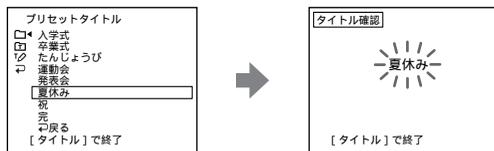
タイトルを重ねることができません。ただし、テープには記録できません。

AV接続ケーブルをつないで他機へダビングするとタイトルも記録することができません。

i.LINKケーブルをつないでダビングする場合はタイトルは記録できません。

3 選択/押決定ダイヤルを回して入れたいタイトルを選び、押して決定する。

タイトルが点滅する。



4 色、サイズ、位置を選択する。

表示されているタイトルの色、サイズ、位置でよいときは手順5にすむ。

1 選択/押決定ダイヤルを回して「色設定」または「サイズ設定」、「位置設定」を選び、押して決定する。

選べる項目が出る。



2 選択/押決定ダイヤルを回して希望の項目を選び、押して決定する。



3 必要なだけ1、2を繰り返す。

5 選択/押決定ダイヤルを押して、タイトルを表示させる。

6 撮影を始める。

7 タイトルを消したい場面でタイトルボタンをもう一度押す。

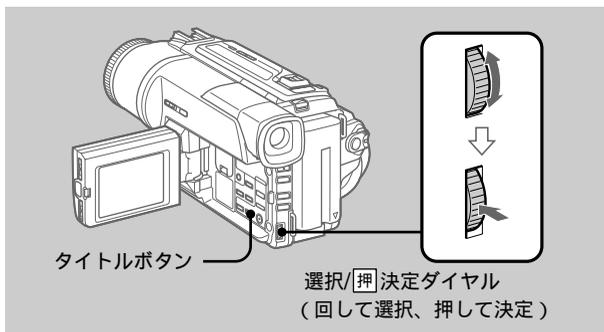
撮影の途中でタイトルを入れるとき

撮影中にタイトルボタンを押し、手順2から5を行う。手順5で選択/押決定ダイヤルを押した時、タイトルが記録される。

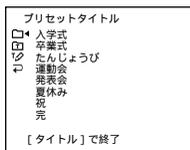
オリジナルタイトルを作る

20文字以内のタイトルを自分で作って2種類まで本機に記憶できます。

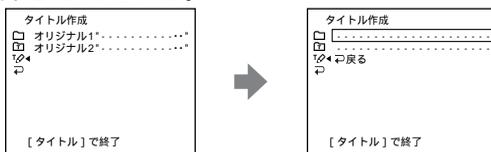
[撮影スタンバイ中]でタイトルを作成中に3分以上たつと自動的に電源が切れます。作成中のタイトルは残っています。一度電源スイッチを「切(充電)」にして、手順1からやり直してください。タイトルの作成に3分以上かかりそうときは「ビデオ」にしておくかカセットを取り出しておけば電源は切れません。



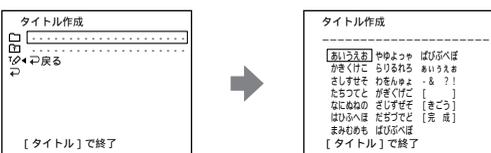
1 [撮影スタンバイ中]または[ビデオ]のときタイトルボタンを押す。



2 選択/押 決定ダイヤルを回して「1」を選び、押して決定する。



3 選択/押 決定ダイヤルを回して1行目または2行目の「----...」を選び、押して決定する。1行目はオリジナル1。2行目はオリジナル2。



[きごう]を選ぶと
アルファベットや数字、漢字
などが選べる画面が出ます。

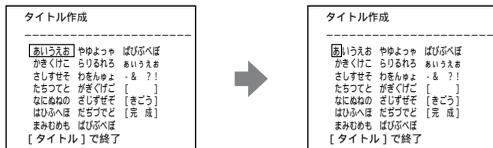
[かな]を選ぶと、元の画面
に戻ります。

文字を消すとき
[←]を選びます。一番後ろの
文字が消えます。

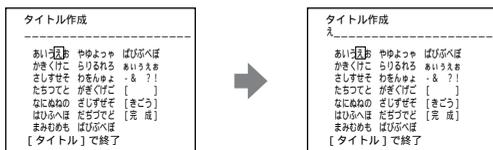
漢字変換機能は
ありません。[きごう]にあ
る漢字以外をタイトルに使う
ことはできません。

空白を入れたいとき
[& ? !]の文字列の空
白部分を選んでください。

4 選択/押決定ダイヤルを回して希望の文字列 を選び、押して決定する。



5 選択/押決定ダイヤルを回して希望の文字を を選び、押して決定する。



6 手順4、5を繰り返して希望のタイトルを作 る。

7 選択/押決定ダイヤルを回して[完成]を選 び、押して決定する。 タイトルが記憶される。

8 タイトルボタンを押して、タイトル画面を消 す。

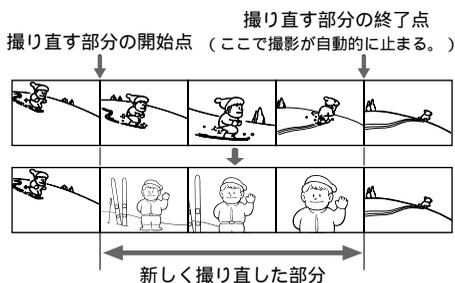
作成したタイトルを変更する

手順3で変更したいオリジナルタイトルを選び、押して決定す
る。

[←]を選び、ダイヤルを押して文字を消し、文字を選び直す。

一部分だけ撮り直す

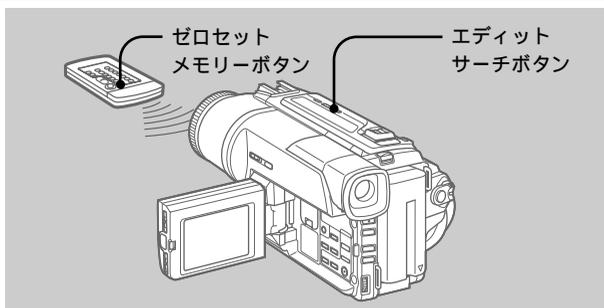
撮影した画像の一部だけをあとで撮り直すことができます。液晶画面を見ながら、撮り直したい部分の始めと終わりを決めて、その部分だけ新しく撮り直します。リモコンも使います。



ご注意

- Digital8方式以外で記録したテープでは、ゼロセットメモリーはできません。
- 撮り直した部分の終了点で画像や音声が乱れることがあります。

テープの途中に記録されていない部分があるとゼロセットメモリーが正しく働かない場合があります。



- 1 [撮影スタンバイ中]にエディットサーチボタンを押し続け、撮り直したい部分の終了点で離す。
- 2 ゼロセットメモリーボタンを押す。「ゼロセットメモリー」が点滅し、テープカウンター値が「0:00:00」になる。
- 3 エディットサーチのⓂボタンを押し続け撮り直したい部分の開始点で離す。
- 4 撮影する。撮り直す部分に新しく録画される。テープカウンター値が「0:00:00」の付近で自動的に撮影が止まり、撮影スタンバイになる。ゼロセットメモリーは解除される。

画像にピクチャーエフェクトを加えて見る

再生しているテープの画像にピクチャーエフェクトを加えて見ることができます。

再生中は、ピクチャーエフェクトのうち、ネガアート、セピア、モノトーン、ソラリが使えます。

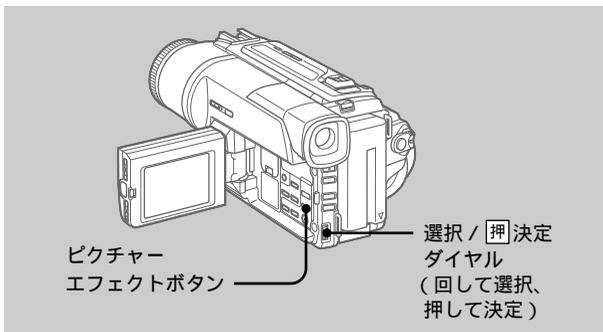
ご注意

- Digital8方式以外で記録したテープに、ピクチャーエフェクトを加えて見ることはできません。
- 外部入力している画像にピクチャーエフェクトを加えて見ることはできません。
- ピクチャーエフェクトを加えた画像を本機で録画することはできません。本機を再生機とし、他のビデオへ録画してください。

ピクチャーエフェクトを加えた画像は

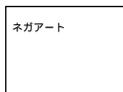
⚠ DV入力/出力端子からは出力されません。

電源スイッチを「切(充電)」にするか、再生を停止するとピクチャーエフェクトは自動的に解除されます。



[再生中]に

ピクチャーエフェクトボタンを押し、選択 / 押決定ダイヤルを回して希望のモードを選ぶ。



次の順で変わります。
ネガアート ↔ セピア ↔ モノトーン ↔ ソラリ

各ピクチャーエフェクトについて詳しくは29ページをご覧ください。

ピクチャーエフェクトを解除する

ピクチャーエフェクトボタンを押し、表示を消す。

画像にデジタルエフェクトを加えて見る

再生しているテープの画像にデジタルエフェクトを加えて見ることができます。

再生中は、デジタルエフェクトのうち、スチル、フラッシュ、ルミキー、トレイルが使えます。

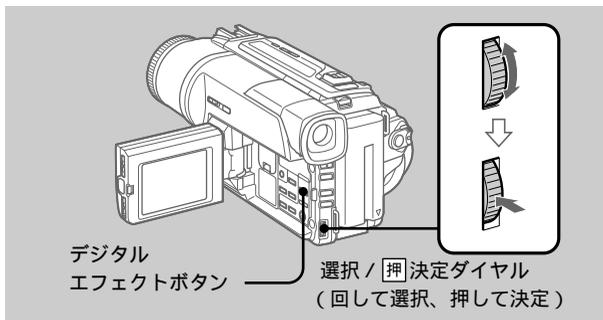
ご注意

- Digital8方式以外で記録したテープに、デジタルエフェクトを加えて見ることはできません。
- 外部入力している画像にデジタルエフェクトを加えて見ることはできません。
- デジタルエフェクトを加えた画像を本機で録画することはできません。本機を再生機とし、他のビデオへ録画してください。

デジタルエフェクトを加えた画像は

ⓘ DV入力/出力端子からは出力されません。

電源スイッチを「切(充電)」にするか、再生を停止するとデジタルエフェクトは自動的に解除されます。



1 [再生中]に

デジタルエフェクトボタンを押し、選択/押決定ダイヤルを回して希望のモードを選ぶ。



次の順で変わります。
スチル↔フラッシュ↔ルミキー↔トレイル

2 選択/押決定ダイヤルを押して決定する。

表示が点滅から点灯に変わり、パーが表示される。スチルとルミキーでは、押したときの画像が静止画として記憶される。

3 選択/押決定ダイヤルを回して、効果を調節する。

各デジタルエフェクトについて詳しくは30ページをご覧ください。

デジタルエフェクトを解除する

デジタルエフェクトボタンを押し、表示を消す。

撮影した画像を拡大する - 再生ズーム

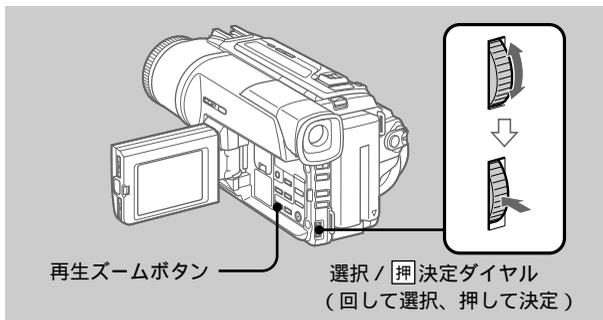
テープに記録した動画や静止画を拡大することができます。

ご注意

- Digital8方式以外で記録したテープでは、再生ズームはできません。
- 外部入力している画像に再生ズームを加えて見ることはできません。
- 再生ズームを加えた画像を本機で録画することはできません。本機を再生機とし、他のビデオへ録画してください。

再生ズームを加えた画像は、DV入力/出力端子からは出力されません。

電源スイッチを「切(充電)」にするか、再生を停止すると再生ズームは自動的に解除されます。



1 [再生中]に

再生ズームボタンを押す。

画像が拡大され、液晶画面またはファインダーに が表示される。

2 選択 / [押]決定ダイヤルを回して拡大された画像を上下に動かし、押して決定する。



- ↑: 画像が下に移動する。
- ↓: 画像が上に移動する。

3 選択 / [押]決定ダイヤルを回して拡大された画像を左右に動かし、押して決定する。



- ←: 画像が右に移動する。
(ダイヤルを下へ回す)
- : 画像が左に移動する。
(ダイヤルを上へ回す)

再生ズームを解除する

再生ズームボタンを押し、表示を消す。

見たい場面にすばやく戻す - ゼロセットメモリー

テープカウンター値が「0:00:00」の地点まで巻き戻しや早送りをして、自動的に停止するようにできます。
リモコンでのみ操作できます。



再生中に、後からもう一度見たいと思う場面があったときなど。

ご注意

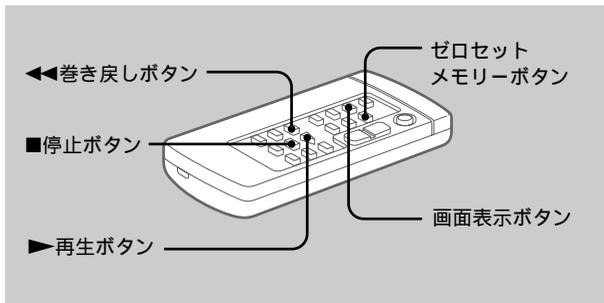
- Digital8方式以外で記録したテープでは、ゼロセットメモリーはできません。
- 巻き戻す前にゼロセットメモリーボタンをもう1度押すと、ゼロセットメモリーが解除されます。
- タイムコードとテープカウンターに多少誤差が出ることがあります。

テープの途中で記録されていない部分があるとゼロセットメモリーが正しく働かない場合があります。

[撮影スタンバイ中]にも操作できます

ある部分だけ撮り直したいときに、撮り直したい部分の終了点でゼロセットメモリーボタンを押しておきます。

撮り直したい部分の開始点まで巻き戻して撮影を始めると終了点でテープが停止し、再び撮影スタンバイになります。



- ① [再生中]に画面表示ボタンを押す。
- ② 後から見たい場面でゼロセットメモリーボタンを押す。
テープカウンター値が「0:00:00」になる。
ゼロセットメモリー表示が点滅する。
- ③ 再生し終わったら■停止ボタンを押す。
- ④ ◀巻き戻しボタンを押す。
テープカウンター値が「0:00:00」の付近で自動的に停止する。テープカウンターがタイムコード表示に戻り、ゼロセットメモリー表示が消える。
- ⑤ ▶再生ボタンを押す。
テープカウンター値「0:00:00」の場面からもう1度再生される。

撮影日の変わり目を探す - 日付サーチ

撮影した日付の変わり目を自動的に探し、そこから再生を始めることができます(日付サーチ)。

いつ使う?

撮影日の変わり目を確認したり、撮影日ごとに編集するときなど。

リモコンでのみ操作できます。2000 7.3. ← 2000 7.4. ← 2000 7.7.



日付の変わり目

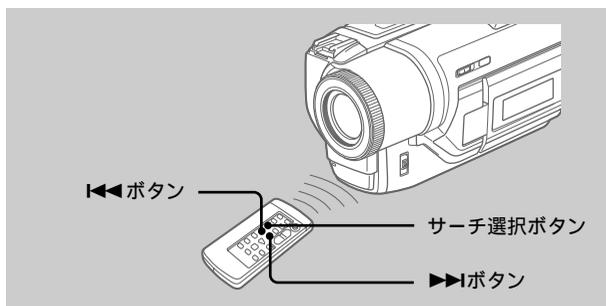
現在位置

日付の変わり目

ご注意

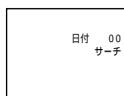
- Digital8方式以外で記録したテープでは、日付サーチはできません。
- 日付の変更点の間隔は2分以上必要です。間隔が短いと正しく検出されない場合があります。

テープの途中に記録されていない部分があると日付サーチが正しく働かないことがあります。



① 電源スイッチを「ビデオ」にする。

② 検索選択ボタンを押して、日付サーチを遊ぶ。



次の順で変わります。
日付サーチ→フォトサーチ→
フォトスキャン

③ ◀◀または▶▶ボタンを押す。

日付をさかのぼるときは、◀◀ボタンを、日付を進めるときは、▶▶ボタンを押す。日付の変わり目で自動的に再生が始まる。

ボタンを押した回数だけ前(◀◀)または後ろ(▶▶)の場面が頭出しされる。

サーチを止める

- 停止ボタンを押す。

使いこなす！再生

見たい静止画を探す - フォトサーチ/フォトスキャン

テープフォト撮影した静止画を頭出しできます(フォトサーチ)。

また、静止画を次々に探し、自動的に5秒ずつ再生することもできます(フォトスキャン)。

リモコンでのみ操作できます。

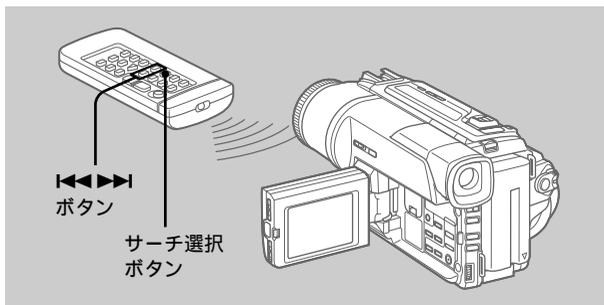


静止画の場面を確認したり、静止画をまとめて編集するときなど。

ご注意

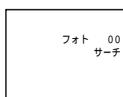
Digital8方式以外で記録したテープでは、フォトサーチ/フォトスキャンはできません。

テープの途中で記録されていない部分があると
フォトサーチ/フォトスキャンが正しく働かないことがあります。



静止画を探す - フォトサーチ

- 1 電源スイッチを「ビデオ」にする。
- 2 サーチ選択ボタンを押して、フォトサーチを選ぶ。



次の順で変わります。
日付サーチ→フォトサーチ→
フォトスキャン

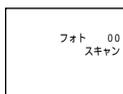
- 3 ◀◀または▶▶ボタンを押す。
静止画が再生される。
ボタンを押した回数だけ前(◀◀)または後ろ(▶▶)の静止画が再生される。

サーチを止める

- 停止ボタンを押す。

静止画を次々に探す - フォトスキャン

- 1 電源スイッチを「ビデオ」にする。
- 2 サーチ選択ボタンを押して、フォトスキャンを選ぶ。



次の順で変わります。
日付サーチ→フォトサーチ→
フォトスキャン

- 3 ◀◀または▶▶ボタンを押す。
静止画が約5秒ずつ再生される。

フォトスキャンを止める

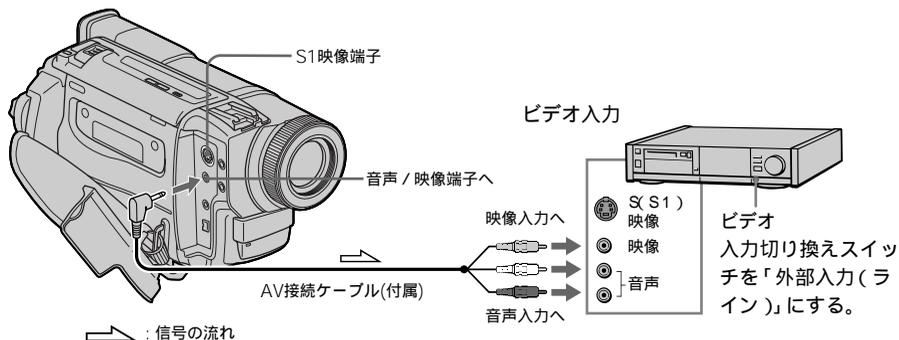
- 停止ボタンを押す。

他のビデオへダビングする

AV接続ケーブルでつなぐ

再生側

録画側



次のボタンを押して画面の表示を消してからダビングしてください。

- 画面表示ボタン
- データコードボタン
- サーチ選択ボタン (リモコン)

消さないでダビングするとテープに記録されます。

録画機は以下のどの方式のビデオでも使えます。

Hi8, Hi8VHS, VHS, S-VHS, S-VHS II, Hi8i, Hi8iBeta, Hi8iDV, DV

録画機の音声入力がひとつ(モノラル)の場合

AV接続ケーブルの黄色のプラグを映像入力へ、白いプラグか赤いプラグのどちらかを音声入力へつなぎます。音声は、白いプラグをつなぐと左音声、赤いプラグをつなぐと右音声記録されます。

別売りのS映像ケーブルを使うと

録画画像がより鮮明になります。ビデオにS(S1)映像端子がついているときは、AV接続ケーブルの黄色端子(映像)のかわりに別売りのS映像ケーブルで、本機のS1映像端子とビデオのS(S1)映像端子を接続することをおすすめします。

1 カセットを準備する。

本機 : 撮影ずみのカセットを入れる。

録画機 : ダビングしたいカセットを入れる。

2 録画機の準備をする。

入力切り換えスイッチを外部入力(ライン)にする。

詳しくは録画機の取扱説明書をご覧ください。

3 本機の電源スイッチを「ビデオ」にする。

4 本機で再生する。

5 録画機で録画をはじめる。

詳しくは録画機の取扱説明書をご覧ください。

ダビングが終わったら

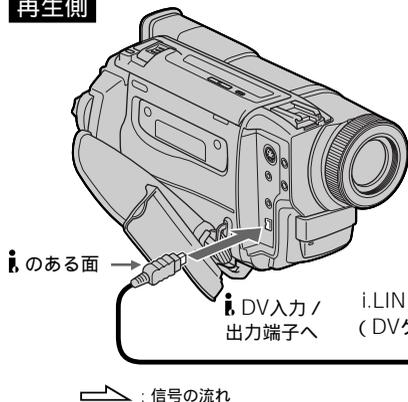
録画機で録画を停止し、本機で再生を停止する。

i.LINKケーブル(DVケーブル)でつなぐ

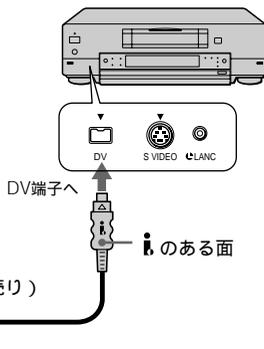
本機とDV端子を持っている他のビデオ機器を1本のi.LINKケーブル(DVケーブル)(別売り)でつなぎダビング編集ができます。

デジタルで信号のやりとりをするので、画質、音質の劣化がほとんどありません。画面表示はダビングできません。

再生側



録画側



△ : 信号の流れ

Digital8方式以外で記録したテープでは画像が乱れることがあります。が、故障ではありません。

Hi8/スタンダード8ミリ方式で記録されたテープを再生中はDV出力端子からの映像信号はデジタル信号が出力されません。

i.LINKケーブル(DVケーブル)で本機と接続できるのは1台だけです。i.LINKについて詳しくは65ページをご覧ください。

デジタルダビング編集中はピクチャーエフェクトまたはデジタルエフェクトボタンは働きません。

再生一時停止にしている画像はDV端子を使ってダビングすると粗い画像になります。また、他機で再生したとき画像がぶれることがあります。

1 カセットを準備する。

本機 : 撮影ずみのカセットを入れる。

録画機 : ダビングしたいカセットを入れる。

2 録画機の準備をする。

入力切り換えスイッチがある場合は、「DV入力」にする。

詳しくは、録画機の取扱説明書をご覧ください。

3 本機の電源スイッチを「ビデオ」にする。

4 本機で再生する。

5 録画機で録画をはじめめる。

詳しくは、録画機の取扱説明書をご覧ください。

ダビングが終わったら

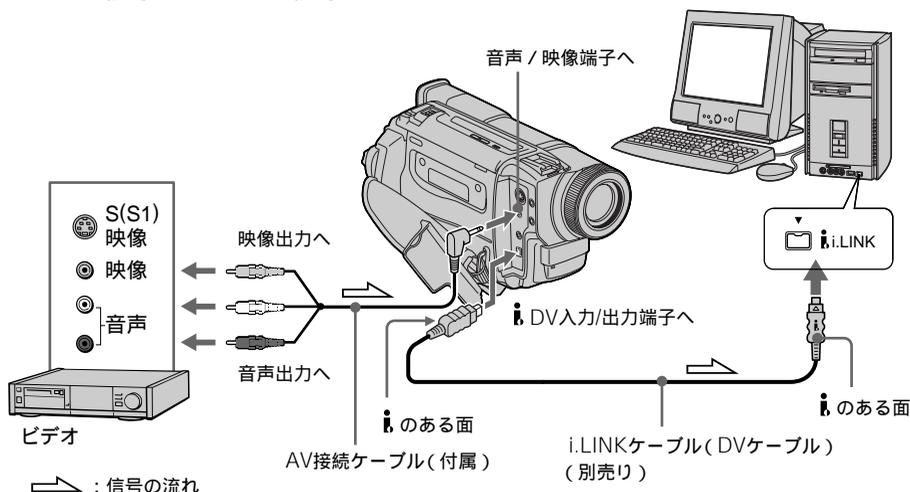
録画機で録画を停止し、本機で再生を停止する。

アナログ機器とパソコンをつなげて使う

- デジタル変換機能

アナログビデオ機器に録画した映像、音声を本機を通して、i.LINK端子を持つパソコンに接続して取り込みます。

アナログ信号 → デジタル信号



ご注意

- ビデオ信号の取り込みができるソフトウェアがパソコン側にインストールされている必要があります。
- 本機に入力される映像信号の状態によっては、本機からのDV出力をパソコンに入力した場合、正しいアナログ映像を出力することができないことがあります。受信機によっては色消えやノイズがでることがあります。
- 著作権保護の為に信号 (ID-2方式など) が記録されているソフトを再生して本機に入力し、本機から出力された信号を録画したり、パソコンで取り込むことはできません。

- 1 本機の電源スイッチを「ビデオ」にする。
- 2 メニューで「A/V入力→DV出力」を「入」にする。(55ページ)
- 3 アナログビデオ機器で再生を始める。
- 4 パソコンで取り込み動作を始める。
取り込むための操作は、パソコンでお使いになるソフトウェアによって異なります。操作について詳しくは、ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

取り込みが終わったら

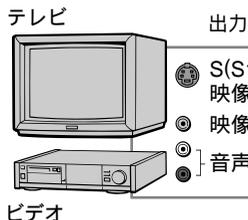
パソコンで取り込み動作を停止し、アナログビデオ機器で再生を停止する。

ビデオやテレビから録画する

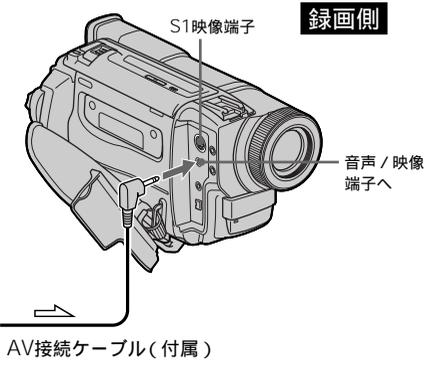
AV接続ケーブルでつなぐ

本機を録画機として使い、他のビデオの画像やテレビ番組を録画・編集できます。

受信 / 再生側



信号の流れ



録画側

ご注意

- よりよいつなぎ撮りのために、Hi8/スタンダード8ミリ方式で記録した画像と、Digital8方式で記録した画像をひとつのテープに混在させないことをおすすめします。
- 再生側のビデオで早送りやスロー再生などを行うと、本機で録画中の画像が乱れることがあります。テープを通常速度で再生してください。

ビデオやテレビの音声出力端子がひとつ(モノラル)の場合AV接続ケーブルの黄色いプラグを映像出力へ、白いプラグか赤いプラグのどちらかを音声入力へつなぎます。音声は、白いプラグをつなぐと左音声か、赤いプラグをつなぐと右音声か記録されます。

別売りのS映像ケーブルを使うと録画画像がより鮮明になります。ビデオやテレビにS(S1)映像端子がついているときは、AV接続ケーブルの黄色端子(映像)のかわりに別売りのS映像ケーブルで、本機のS1映像端子とビデオまたはテレビのS(S1)映像端子を接続することをおすすめします。

1 カセットを準備する。

本機：ダビングしたいカセットを入れる。

ビデオから録画するときは：再生側のビデオに録画済みのカセットを入れる。

2 本機の電源スイッチを「ビデオ」にする。

3 メニューで「画面表示」を「パネル」にする。(55ページ)

4 本機を録画一時停止にする。

●録画ボタンを2つ同時に押し、すぐに一時停止ボタンを押す。



5 再生側のビデオを再生する。または、録画したいテレビ番組を受信する。

ビデオやテレビの画像が液晶画面またはファインダーに出る。

6 録画したい場面で一時停止ボタンを押して録画を始める。

ダビングが終わったら

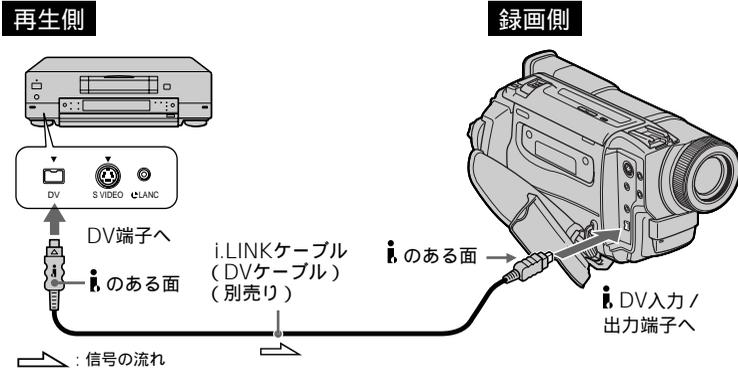
本機で録画を停止し、再生側のビデオで再生を停止する。

ビデオやテレビから録画する(つづき)

i.LINKケーブル(DVケーブル)でつなぐ

本機とDV端子を持っている他のビデオ機器を1本のi.LINKケーブル(DVケーブル)(別売り)でつなぎダビング編集ができます。

デジタルで信号のやりとりをするので、画質、音質の劣化がほとんどありません。



i.LINKケーブル(DVケーブル)で本機と接続できるのは1台だけです。

デジタルダビング編集中はモニター映像に色ムラが出る場合がありますが、ダビングされた画像には影響はありません。

再生一時停止にしている画像はDV端子を使ってダビングすると粗い画像になります。また、本機で再生したとき画像がぶれることがあります。

録画を始める前に画面表示ボタンを押して、液晶画面またはファインダーに「DV入力」の表示が出るのを確認してください。表示は両方の機器に出ることもあります。

- 1** カセットを準備する。
本機：ダビングしたいカセットを入れる。
再生機：録画ずみのカセットを入れる。
- 2** 本機の電源スイッチを「ビデオ」にする。
- 3** メニューで「画面表示」を「パネル」にする。(55ページ)
- 4** 本機を録画一時停止にする。
●録画ボタンを2つ同時に押し、すぐに||一時停止ボタンを押す。

- 5** 再生機で再生する。
ビデオやテレビの画像が液晶画面またはファインダーに出る。
- 6** 録画したい場面で||一時停止ボタンを押して録画を始める。

ダビングが終わったら

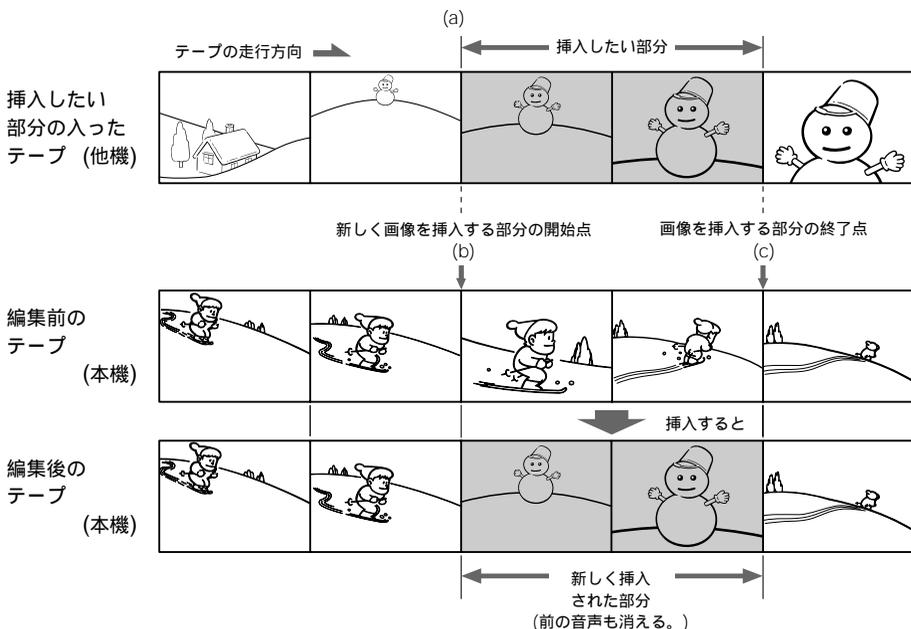
本機で録画を停止し、再生機で再生を停止する。

撮影したテープに新しく画像を挿入する

撮影、録画済みテープの指定した部分に、他のビデオからの映像・音声を挿入（インサート編集）できます。

リモコンも使います。

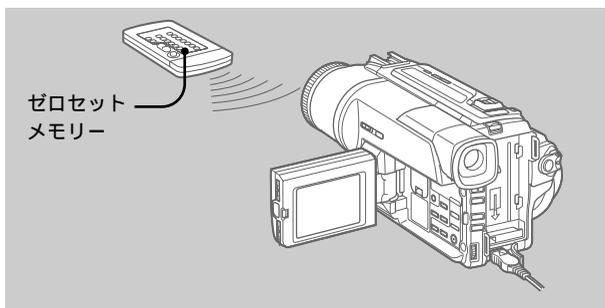
51または52ページの接続と準備をし、挿入したい部分のに入ったテープを他機に入れておきます。



ご注意

- Digital8方式以外で記録したテープでは、ゼロセットメモリーはできません。
- 新しく挿入された部分の編集前の映像と音声は消えます。

新しく挿入された部分を再生すると
終了点の画像や音声がかかりますが、故障ではありません。

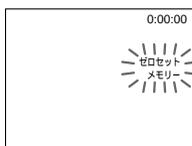


- 1 本機の電源スイッチを「ビデオ」にする。

撮影したテープに新しく画像を挿入する(つづき)

終了点を設定せずに録画するときは手順3、4をとばします。終了したいところで■停止ボタンを押します。

- ② 他機(再生側)で、挿入したい部分(a)の少し前で、再生一時停止状態にする。
- ③ 本機で、挿入部分の終了点(c)を探し、再生一時停止状態にする。
- ④ リモコンのゼロセットメモリーボタンを押す。
「ゼロセットメモリー」表示が点滅し、挿入部分の終了点が記憶され、テープカウンター値が「0:00:00」になる。



- ⑤ 本機で、挿入部分の開始点(b)を探し、録画一時停止状態にする。
 - 録画ボタンを2つ同時に押す。



- ⑥ 他機(再生側)の■一時停止ボタンを先に押し、数秒後に本機の■一時停止ボタンを押す。
本機の挿入部分に、新たに他機(再生側)の映像と音声記録され始める。
テープカウンター値が「0:00:00」の付近で、本機は自動的に停止になり、ゼロセットメモリーが解除される。

終了点の位置を変える

手順5の後でゼロセットメモリーボタンをもう1度押し、「ゼロセットメモリー」表示を消して、手順3からやり直す。

メニューで設定を変える

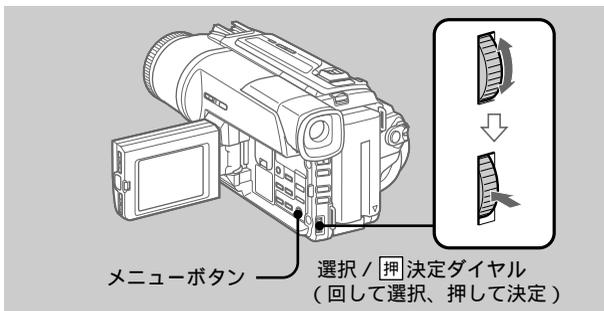
画面上のメニュー項目を、選択/押決定ダイヤルで選択し、本機のお買い上げ時の設定を一部変更することができます。

次の順で選択します。

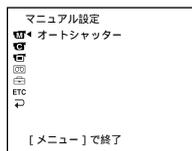
メニュー画面→アイコン→項目→設定内容

メニュー項目は以下のアイコン(絵文字)で区別されています。

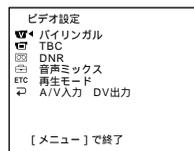
-  マニュアル設定
-  カメラ設定
-  ビデオ設定
-  パネル/VF設定
-  テープ設定
-  初期設定
-  その他



1 [撮影スタンバイ中]または[ビデオ]のときメニューボタンを押す。

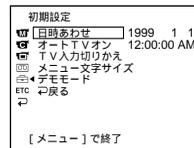
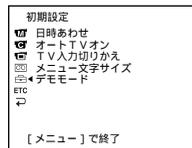


撮影スタンバイ中のとき
(「カメラ」のとき)



「ビデオ」のとき

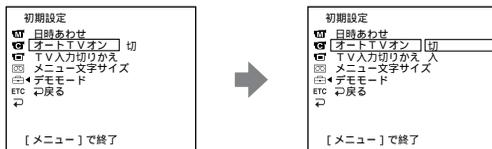
2 選択/押決定ダイヤルを回して希望のアイコンを選び、押して決定する。



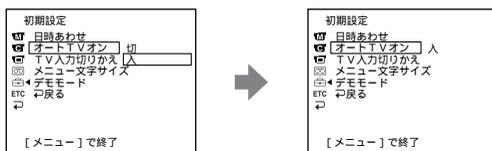
お買い上げ時の設定を変える

メニューで設定を変える(つづき)

- 3** 選択 / 押決定ダイヤルを回して希望の項目を選び、押して決定する。



- 4** 選択 / 押決定ダイヤルを回して設定を切り換え、押して決定する。



- 5** 必要なだけ手順2～4を繰り返す。

手順2に戻るには、選択 / 押決定ダイヤルを回して「戻る」を選び、ダイヤルを押す。

詳しくは「各設定項目の説明」(57ページ)をご覧ください。

メニュー画面を消す
メニューボタンを押す。

各設定項目の説明 お買い上げ時は、下表の 印側に設定されています。

電源スイッチの位置によって、操作できる項目に違いがあります。本機の画面には、その時使える項目のみ表示されます。

| アイコン / 項目 | 設定 | 設定の意味 (参照ページ) | 電源スイッチの位置 |
|------------|------|--------------------------------------|-----------|
| 📷 オートシャッター | 入 | 明るいとき、自動的に電子シャッターが働く。 | 「カメラ」 |
| | 切 | 明るいときでも、自動的に電子シャッターが働かない。 | |
| 📷 デジタルズーム | 切 | デジタルズームが働かない。25倍までのズームが働く。 | 「カメラ」 |
| | 50× | ズームが25倍を超えると50倍までデジタルズームが働く。(14ページ) | |
| | 100× | ズームが25倍を超えると100倍までデジタルズームが働く。(14ページ) | |
| ワイドTV | 切 | ワイド録画モードにしない。 | 「カメラ」 |
| | 入 | ワイド録画モードにする。(26ページ) | |
| 手ぶれ補正 | 入 | 手ぶれ補正が働く。 | 「カメラ」 |
| | 切 | 手ぶれ補正が働かない。三脚を使用するとき自然な画像になる。 | |
| N.S.ライト | 入 | NIGHTSHOTライトを使用する。(17ページ) | 「カメラ」 |
| | 切 | NIGHTSHOTライトを使用しない。 | |

手ぶれ補正は

- 手ぶれ補正が「入」になっても、手ぶれが大きすぎると、補正しきれないことがあります。
- コンバージョンレンズ(別売り)を取り付けると、手ぶれ補正が効きにくくなります。

手ぶれ補正を解除すると

本機を左右に動かしたときにその動きを補正しようとするなど、不必要な補正を防ぎます。このとき画面に手ぶれ補正「切」表示  が出ます。

メニューで設定を変える(つづき)

| アイコン / 項目 | 設定 | 設定の意味 (参照ページ) | 電源スイッチの位置 |
|-------------------------------------|----------------|---|-----------|
| [V] バイリンガル | 切 | ステレオ音声または主 + 副音声で再生する。 (64ページ) | 「ビデオ」 |
| | メイン | 左音声または主音声で再生する。 | |
| | サブ | 右音声または副音声で再生する。 | |
| TBC* | 入 | ジッター(再生時の画像の横ブレ)を低減する。 | 「ビデオ」 |
| | 切 | 画像の乱れ補正が働かない。 (ダビング等を繰り返したり、ゲーム機の信号などを記録したテープを再生するとき) | |
| <small>タイム ベース コレクター</small> | | | |
| TBCとは Time Base Corrector の略です。 | | | |
| DNR* | 入 | 画像の色ノイズを目立たなくする。 | 「ビデオ」 |
| | 切 | 動きの激しい画像のとき残像が目立たなくする。 | |
| <small>デジタル ノイズ リダクション</small> | | | |
| DNRとは Digital Noise Reduction の略です。 | | | |
| 音声ミックス | | 音声モードST1↔ST2間のバランスを調節する。 | 「ビデオ」 |
| | |  | |
| 再生モード | オート | 再生テープを自動判別(Hi8/スタンダード8ミリ方式またはDigital8方式)して、再生する。 | 「ビデオ」 |
| | Hi8 / 8 | 自動判別できないHi8/スタンダード8ミリ方式で記録されたテープを、再生する。 | |
| A/V入力 → DV出力 | 切 | 本機を通してデジタル画像をアナログ出力します。 | 「ビデオ」 |
| | 入 | 本機を通してアナログ画像をデジタル出力します。(50ページ) | |

*Hi8/スタンダード8ミリ方式での再生時のみ

音声ミックスは

- 16ビットモードで記録されたテープのバランスを調節することはできません。
- Digital8方式以外で記録したテープのバランスを調節することはできません。

再生モードは

- 次のときお買い上げ時の設定に戻ります。
 - 電源をはずしたとき
 - 電源スイッチを切り換えたとき

| アイコン/項目 | 設定 | 設定の意味(参照ページ) | 電源スイッチの位置 |
|---|---------------|--|-----------------|
|  パネルバック ライト パネル色のこさ | 明るさノーマル | 液晶画面の明るさを標準にする。 | 「ビデオ」 |
| | 明るい | 液晶画面を明るくする。 | 「カメラ」 |
| | | 液晶画面の色のこさを選択/  決定ダイヤルを回し、パーで調節する。 うすくなる  くなる  | 「ビデオ」 「カメラ」 |
| VFバック ライト | 明るさノーマル | ファインダーの明るさを標準にする。 | 「ビデオ」 |
| | 明るい | ファインダーを明るくする。 | 「カメラ」 |
|  録画モード | SP | SP(標準)モードで録画する。 | 「ビデオ」 |
| | LP | SPモードの1.5倍の録画時間で録画する。長時間録画できる。 | 「カメラ」 |
| 音声モード | 12BIT | 12ビットモード(2つのステレオ音声)の記録、再生ができる。 | 「ビデオ」* 「カメラ」 |
| | 16BIT | 16ビットモード(高音質で1つのステレオ音声)の記録、再生ができる。 | |
| テープ残量表示 | オート | 以下のときにテープ残量を表示する。 ・電源/テープを入れた後、テープ残量が確定してから8秒間。 ・▶再生ボタンまたは画面表示ボタンを押してから8秒間。 ・早送り、巻き戻し、ピクチャーサーチ中。 | 「ビデオ」 「カメラ」 |
| | 入 | テープ残量を常に表示する。 | |
| データコード | 日付/ カメラデータ | データコードボタンを押したとき、日付・時刻とカメラデータを表示する。 | 「ビデオ」 |
| | 日付データ | データコードボタンを押したとき、日付・時刻を表示する。 | |

「パネルバックライト」または「VFバックライト」の「明るい」を選ぶと

- 撮影時のバッテリー使用時間が約1割短くなります。
- バッテリー以外の電源で使うときは自動的に「明るい」になります。

LPモードについて

- LPモードでは本機で記録したテープを本機で再生することをおすすめします。他機で記録したテープを本機で再生すると、モザイク状のノイズが現れることがあります。
- テープの途中でSP/LPモードを切り換えると、再生画像が乱れたり、タイムコードが正しくつながらないことがあります。

スタンダード8  テープをお使いの場合
 「録画モード」で「LP」を選んでも「SP」モードで録画されません。このとき、「Hi8テープでなければLP録画できません」SP録画になります」と液晶画面またはファインダーに表示されます。「LP」モードのときはHi8テープをお使いください。

音声モードが16ビットで記録されたテープでは音声ミックスのバランスを調節することができません。

* 他のビデオへダビングするとき
 Digital8  方式で記録されたテープでは音声モードは選べませんが、Hi8/スタンダード8ミリ方式で記録されたテープをi.LINKケーブルで出力するときは、音声モードを選ぶことができます。

メニューで設定を変える(つづき)

| アイコン / 項目 | 設定 | 設定の意味(参照ページ) | 電源スイッチの位置 |
|---|------|--|-----------|
|  日時あわせ | — | 日付・時刻を合わせ直す。(62ページ) | 「カメラ」 |
| オートTVオン | 切 | — | 「ビデオ」 |
| | 入 | SUPER LASER AVLINK機能を使うとき、自動的にソニー製テレビの電源を入れる。 (23ページ) | 「カメラ」 |
| TV入力切りかえ | ビデオ1 | SUPER LASER AVLINK機能を使うとき、自動的にソニー製テレビの入力を切りかえる。 (23ページ) | 「ビデオ」 |
| | ビデオ2 | | 「カメラ」 |
| | ビデオ3 | — | |
| メニュー文字 | ノーマル | 通常の大きさでメニュー表示をする。 | 「ビデオ」 |
| サイズ | 2× | 選択されたメニュー項目を縦2倍角で表示する。 | 「カメラ」 |
| デモモード | 入 | 本機の機能を一覽できる。 | 「カメラ」 |
| | 切 | デモンストレーションを表示しない。 | |

デモモードについて

- カセットが入った状態では操作できません。
- お買い上げ時は「スタンバイ」という設定になっています。これは10分後にデモンストレーションが始まる設定です。カセットを入れるか、電源スイッチを「カメラ」以外にするか、メニューで「切」にすれば解除されます。再び「スタンバイ」にするにはメニューで「入」にしたまま電源スイッチをいったん「切(充電)」にし、「カメラ」に戻します。
- NIGHTSHOTスイッチを「入」にしていると、「NIGHTSHOT」が表示され、デモンストレーションは始まりません。また、メニューで「デモモード」を選ぶことはできません。

| アイコン / 項目 | 設定 | 設定の意味(参照ページ) | 電源スイッチの位置 |
|-----------|-------------|--|----------------|
| ETC 時差補正 | — | 時差の設定をする。 選択 / [押] 決定ダイヤルを回して時差を設定すると、時刻も時差に合わせて変わる。時差を0に設定すると、補正前の時間に戻る。 | 「カメラ」 |
| おしらせブザー | メロディー | 撮影スタート/ストップ時や、誤った操作をしたときにメロディーが鳴る。 | 「ビデオ」 「カメラ」 |
| | ノーマル | メロディーのかわりにブザーが鳴る。 | |
| | 切 | メロディー、ブザー、シャッター音が鳴らない。 | |
| リモコン | 入 | 付属のワイヤレスリモコンが働く。 | 「ビデオ」 |
| | 切 | リモコンが働かない。他機のリモコンによる誤動作を防ぐ。 | 「カメラ」 |
| 画面表示 | パネル | カウンターなどの画面表示を液晶画面またはファインダーに出す。 | 「ビデオ」 「カメラ」 |
| | ビデオ出力 / パネル | テレビ画面にも画面表示を出す。 | |
| 録画ランプ | 入 | 本体前面の録画ランプが撮影中に点灯する。 | 「カメラ」 |
| | 切 | 本体前面の録画ランプが撮影中に点灯しなくなる。被写体に撮影していることを意識させずに撮影できる。 | |
| インジケーター | バックライト | 表示窓のバックライトを消す。 | 「ビデオ」 |
| | 切 | | 「カメラ」 |
| | バックライト 入 | 表示窓のバックライトをつける。 | |

ご注意

「画面表示」が「ビデオ出力 / パネル」のとき画面表示ボタンを押すと、外部入力ができなくなります。(i.LINKケーブル(DVケーブル)でつないだときを除く)

電源をはずして5分以上たつと「リモコン」,「バイリンガル」,「音声ミックス」はお買い上げ時の設定に戻ります。

その他のメニュー項目は、ボタン型リチウム電池が入っていれば、電源をはずしても設定を保持します。

インジケーターについて

- 「バックライト入」を選ぶと撮影時のバッテリー使用時間が約1割短くなります。
- バッテリー以外の電源で使うときは「インジケーター」は自動的に「バックライト入」になります。

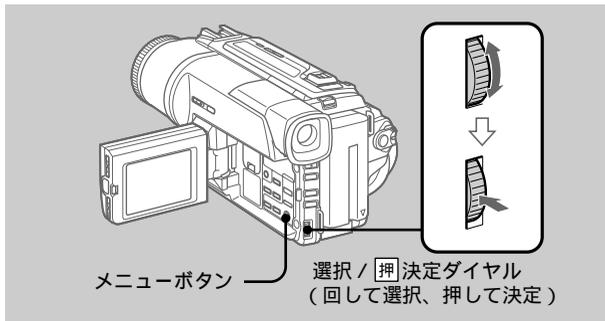
日付・時刻を合わせ直す

お買い上げ時には、あらかじめ日付・時刻は設定されています。

いつ使う? 電源を取り付けていないときにボタン型リチウム電池が消耗したとき。

ボタン型リチウム電池を交換するときにも、電源を取り付けたまま行えば、日付・時刻を合わせ直す必要はありません。

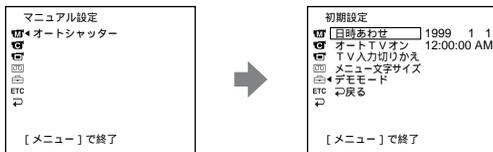
日時を設定しないとデータコードには「-----」
「--:--:--」が記録されます。



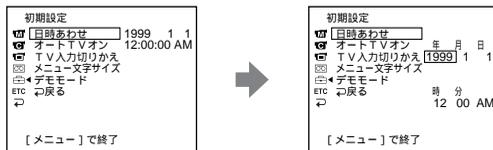
年 月 日 時 分の順で合わせます。

① [撮影スタンバイ中]にメニューボタンを押す。

② 選択 / 押決定ダイヤルを回して「」を選び、押しで決定する。



③ 選択 / 押決定ダイヤルを回して「日時あわせ」を選び、押しで決定する。



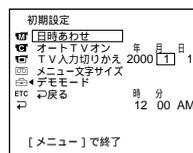
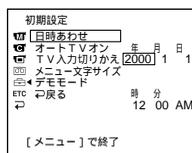
真夜中、正午は
真夜中は12:00:00AM、正午
は12:00:00PMと表示しま
す。

4 「年」を合わせる。

選択 / 押決定ダイヤルを回して「年」を合わせ、押して
決定する。

年表示は次のように変わる。

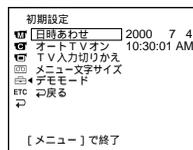
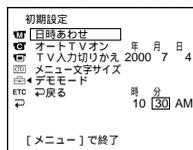
▶1999◀▶2000_____2029◀



5 手順4と同様に「月」、「日」、「時」を合わせる。

6 「分」と「秒」を合わせる。

選択 / 押決定ダイヤルを回して「分」を合わせて時報と
同時に押して決定する。時計が動き始める。



7 メニューボタンを押す。

メニュー画面が消える。

Digital8(デジタルエイト)方式と記録・再生

Digital8(デジタルエイト)方式とは
Hi8(ハイエイト)方式/Digital8(デジタルエイト)方式テープに、デジタル記録できるように開発されたビデオ方式です。

使えるカセットテープ

Hi8(ハイエイト)方式/Digital8(デジタルエイト)方式テープをおすすめします。
Digital8(デジタルエイト)方式での録画時間は従来のHi8/スタンダード8方式の録画時間の半分に なります(120分テープでは、SPモードで60分)。

* スタンダード8ミリ方式テープにも録画できますが、本機で再生することをおすすめします。本機以外(他のDCR-TRV220Kを含む)での再生時にモザイク状のノイズが現れることがあります。

再生方式

Digital8(デジタルエイト)方式とHi8/スタンダード8ミリ(アナログ)方式を自動判別して再生します。

Hi8/スタンダード8ミリ方式で記録されたテープを再生中、DV出力端子からの映像信号はデジタル信号が出力されます。

著作権信号について

再生するとき

本機で再生されるカセットに著作権保護のための信号が記録されている場合には、本機で再生した信号の他機での記録が制限されることがあります。

記録するとき

著作権保護のための信号が記録されているカセットは本機で録画することはできません。このようなカセットを録画しようとすると液晶画面またはファインダーに「ダビングプロテクトされています録画できません」の表示が現れます。なお、ビデオカメラで撮影した画像には、著作権保護のための信号は記録されません。

音声多重記録テープを再生するとき

Digital8(デジタルエイト)方式で記録されたテープのとき

DV方式で記録された音声多重記録テープを、Digital8(デジタルエイト)方式テープにデジタルダビングし、再生するときは、下の表のように必要に応じてメニューの「バイリンガル」を設定してください。
(55ページ)

| メニューの「バイリンガル」の設定 | 再生される音声 | |
|------------------|--------------|--------------|
| | ステレオを記録したテープ | 二重音声を記録したテープ |
| 「切」にする | ステレオ音声 | 主音声+副音声 |
| 「メイン」にする | 左音声 | 主音声 |
| 「サブ」にする | 右音声 | 副音声 |

Hi8/スタンダード8ミリ方式で記録されたテープのとき

AFM Hi-Fiステレオ方式で二重音声を記録したテープを再生するときは、下の表のように必要に応じてメニューの「バイリンガル」を設定してください。

| メニューの「バイリンガル」の設定 | 再生される音声 | |
|------------------|--------------|--------------|
| | ステレオを記録したテープ | 二重音声を記録したテープ |
| 「切」にする | ステレオ音声 | 主音声+副音声 |
| 「メイン」にする | モノラル音声 | 主音声 |
| 「サブ」にする | 不自然な音声になります | 副音声 |

本機では二重音声を記録できません。

ご注意

Digital8(デジタルエイト)方式で記録されたテープは、Hi8/スタンダード8ミリ(アナログ)方式のビデオ機器では再生できません。

Hi8は商標です。

Hi8は商標です。

Hi8は商標です。

自動判別中の表示

Digital8(デジタルエイト)方式とHi8/スタンダード8ミリ(アナログ)方式を判別し、自動で再生方式を切り替えます。このとき画面が青画面になり下記の表示が出ます。また「ザー」とノイズ音が出ることがあります。

Hi8/Digital8: Digital8(デジタルエイト)方式からHi8/スタンダード8ミリ方式に切り換え
Hi8/Hi8: Hi8/スタンダード8ミリ方式からDigital8(デジタルエイト)方式に切り換え

i.LINK(アイリンク)について

本機のDV端子はi.LINKに準拠したDV入力/出力端子です。ここでは、i.LINKの規格や特長について説明します。

i.LINKとは？

i.LINKはi.LINK端子を持つ機器間で、デジタル映像やデジタル音声などのデータを双方向でやりとりしたり、他機をコントロールしたりするためのデジタルシリアルインターフェースです。

i.LINK対応機器は、i.LINKケーブル1本で接続できます。多彩なデジタルAV機器を接続して、操作やデータのやりとりができることが考えられています。

複数のi.LINK対応機器を接続した場合、直接つないだ機器だけでなく、他の機器を介してつながれている機器に対しても、操作やデータのやりとりができます。

ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作のしかたが異なったり、接続しても操作やデータのやりとりができない場合があります。

ご注意

i.LINKケーブル(DVケーブル)で本機と接続できる機器は通常1台だけです。複数接続できるDV対応機器と接続するときは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

ちょっと一言

i.LINK(アイリンク)はIEEE1394の親しみやすい呼称としてソニーが提案し、国内外多数の企業からご賛同いただいている商標です。

IEEE1394は電子技術者協会によって標準化された国際標準規格です。

i.LINKの転送速度について

i.LINKの最大データ転送速度は機器によって違い、以下の3種類があります。

S100(最大転送速度 約100Mbps*)

S200(最大転送速度 約200Mbps)

S400(最大転送速度 約400Mbps)

転送速度は各機器の取扱説明書の「主な仕様」欄に記載され、また、機器によってはi.LINK端子周辺に表記されています。

本機のように特に転送速度の記載がされていない機器の最大転送速度は「S100」です。

最大データ転送速度が異なる機器と接続した場合、転送速度が表記と異なることがあります。

* Mbpsとは？

「Megabits per second」の略で「メガビーピーエス」と読みます。1秒間に通信できるデータの容量を示しています。

100Mbpsならば

100メガビットのデータを送ることができます。

本機でのi.LINK操作は

他のDV端子付きビデオとつないでダビングする方法については49ページをご覧ください。

また、本機はビデオ機器以外のソニー製i.LINK(DV)対応機器(パーソナルコンピュータVAIOシリーズなど)とも接続してご使用になれます。

接続の際のご注意および、本機に対応したアプリケーションソフトの有無などについては、接続する機器の取扱説明書を合わせてご覧ください。

必要なi.LINKケーブル

ソニーのi.LINKケーブルをお使いください
4ピン 4ピン(DVダビング時)

i.LINK、は商標です。

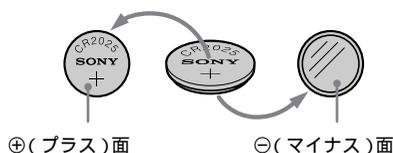
ボタン型リチウム電池を交換する

電源をつけたまま交換します。

ボタン型リチウム電池は⊕と⊖の向きを正しく入れてください。ボタン型リチウム電池が必要なのは、合わせた日付・時刻などを電源の入/切に関係なく保持するためです。電池は市販のボタン型リチウム電池CR2025を使用してください。

いつ使う?

電源スイッチを「カメラ」にすると液晶画面またはファインダーに「ボタン型リチウム電池を取りかえてください」のメッセージが出る時。

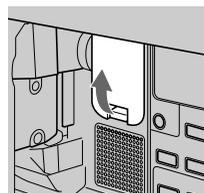


ボタン型リチウム電池について

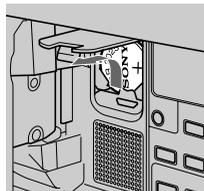
- ボタン型リチウム電池を誤って飲み込むことのないよう、本機および電池は特に幼児の手の届かないところに置いてください。
- 万一電池を飲み込んだ場合には、直ちに医師と相談してください。
- 接触不良を防ぐため、使用する前に電池を乾いた布でよくふいてください。
- 分解や加熱をしたり、ショートさせたり、火の中に入れてたりしないでください。破裂するなどの危険があります。また、捨てる時は燃えないゴミとして適宜、処理してください。

お買い上げ時に装着済みのボタン型リチウム電池は1年もたないことがあります。

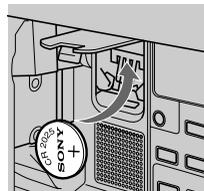
- 1 液晶画面を開け、ボタン型リチウム電池ぶたを開ける。



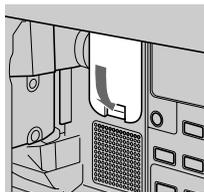
- 2 ボタン型リチウム電池を押し上げながら、引き出す。



- 3 新しいボタン型リチウム電池CR2025を⊕(プラス)面が見えるようにはめ込む。



- 4 ボタン型リチウム電池ぶたを閉める。



故障かな？と思ったら

修理にお出しになる前に、もう1度点検してみましょ。それでも正常に動作しないときは、テクニカルインフォメーションセンター、お買い上げ店にお問い合わせください。

液晶画面やファインダーに「C: : 」のような表示が出たときは、自己診断表示機能が働いています。72ページをご覧ください。

撮影中

| こんなときは | これが原因です | 次のことを点検してください | 参照ページ |
|-----------------------------|--|---|-------------------------|
| スタート/ストップボタンを押してもテープが走行しない。 | <ul style="list-style-type: none"> 電源スイッチが「カメラ」になっていない。 テープが終わりになっている。 カセットが誤消去防止状態になっている。 テープがヘッドドラムに貼りついている(結露)。 | <ul style="list-style-type: none"> 「カメラ」にする。 巻き戻すか、新しいテープを入れる。 そのテープで撮るなら赤いツマミを元に戻す。または新しいテープを入れる。 カセットを取り出して、約1時間してからもう1度入れ直す。 | 12 11、19 11 75 |
| 電源が途中で切れる。 | 撮影スタンバイが3分以上続いたとき、バッテリーの消耗を防ぎ、テープを保護するために自動的に電源が切れます。 | 電源スイッチを一度「切(充電)」にしてからもう一度「カメラ」にする。 | 12 |
| ファインダーの画像がはっきりしない。 | 視度調節が正しくない。 | 視度調節する。 | 14 |
| 手ぶれ補正が働かない。 | <ul style="list-style-type: none"> 「手ぶれ補正」が「切」になっている。 「ワイドTV」が「入」になっている。 | <ul style="list-style-type: none"> メニューで「入」にする。 メニューで「切」にする。 | 55 55 |
| オートフォーカスが働かない。 | <ul style="list-style-type: none"> 手動ピント合わせになっている。 オートフォーカスが働きにくい状態で撮影している。 | <ul style="list-style-type: none"> フォーカススイッチを「自動」にする。 手動でピントを合わせて撮影する。 | 35 35 |
| フェーダーボタンが働かない。 | デジタルエフェクト機能が働いている。 | 解除する。 | 30 |
| ファインダーの画像が消えている。 | 液晶画面が開いている。 | 液晶画面を使って撮影しないときは液晶画面を閉じる。 | 13 |
| LPモードで録画できない。 | スタンダード8テープを使っている。 | Hi8 Hi8/Digital8 Dテープを使う。 | 59 |

故障かな？と思ったら(つづき)

撮影中

| こんなときは | これが原因です | 次のことを点検してください | 参照ページ |
|------------------------------------|---|---|-------|
| ろうそくの火やライトなどを暗い背景の中で撮ると、縦に帯状の線が出る。 | 背景とのコントラストが強い被写体の場合に出る現象で、故障ではありません。 | — | — |
| 明るい被写体を映すと、縦に尾を引いたような画像になる。 | スミア現象といい、故障ではありません。 | — | — |
| 画面に白点が出ることもある。 | スローシャッターやキャンドルモード、SUPER NIGHTSHOTのときに出る現象で、故障ではありません。 | — | — |
| 液晶画面またはファインダーに見慣れぬ画面が現れる。 | カセットを入れずに電源スイッチを「カメラ」にして10分たつと、自動的にデモンストレーションが始まります。 | カセットを入れるとデモンストレーションが中断される。デモンストレーションが出ないようにすることもできます。 | 60 |
| 画像の色が正しくない。 | NIGHTSHOTが「入」になっている。 | 「切」にする。 | 16 |
| 画面が白すぎて画像が見えない。 | 明るいところでNIGHTSHOTを「入」にしている。 | 「切」にする。または暗いところで撮影する。 | 16 |
| テレビやコンピューターの画面を撮影すると黒い帯がでる。 | — | メニューの「手ぶれ補正」を「切」にする。 | 55 |

再生中

| こんなときは | これが原因です | 次のことを点検してください | 参照ページ |
|-------------------------------------|---|--|----------------|
| ビデオ操作ボタンが働かない。 | 電源スイッチが「ビデオ」になっていない。 | 「ビデオ」にする。 | 19 |
| ビデオ再生ボタンが働かない。 | テープが終わりになっている。 | テープを巻き戻す。 | 19 |
| 画像に横線が入る。またはぼけたり映らなかつたりする。 | ビデオヘッドが汚れている。 | 別売りのクリーニングカセットできれいにする。 | 75 |
| 音声小さい。または聞こえない。 | <ul style="list-style-type: none"> •メニューの「バイリンガル」を「サブ」にしてステレオで記録されたテープを再生している。 •音量を最小にしている。 •メニューの「音声ミックス」が「ST2」側になっている。 | <ul style="list-style-type: none"> •「バイリンガル」を「切」にする。 •音量を大きくする。 •「音声ミックス」を調整する。 | 55 20 55 |
| 日付サーチが誤動作する。 | テープの途中に無記録部分がある。 | — | 45 |
| Digital8方式で記録された部分の画像が映らない。 | メニューの「再生モード」が「Hi8/8」になっている。 | 「再生モード」を「オート」にする。 | 55 |
| Hi8/スタンダード8ミリ方式で記録されたテープが正しく再生されない。 | — | メニューの「再生モード」を「Hi8/8」にしてみる。 | 55 |

故障かな？と思ったら(つづき)

撮影中・再生中

| こんなときは | これが原因です | 次のことを点検してください | 参照ページ |
|----------------------------------|---|---|---------------|
| 電源スイッチを「ビデオ」/ 「カメラ」にしても動作しない。 | <ul style="list-style-type: none"> • バッテリーが消耗している / 入っていない / 消耗が近い。 • ACパワーアダプターのプラグがコンセントからはずれている。 | <ul style="list-style-type: none"> • 充電されたバッテリーを取り付ける。 • コンセントに差し込む。 | 6、7 10 |
| エンドサーチが働かない。 | <ul style="list-style-type: none"> • 撮影後にカセットを取り出した。 • カセットを入れてからエンドサーチボタンを押すまでに、1度も撮影していない。 | — — | 18 18 |
| エンドサーチが誤動作する。 | テープの冒頭や途中に無記録部分がある。 | — | 18 |
| バッテリーの消耗が早い。 | <ul style="list-style-type: none"> • 周囲の温度が極端に低い。 • 充電が不十分。 • バッテリーそのものの寿命。 | — — — | — 7 6 |
| バッテリー残量の表示が正しくない。 | <ul style="list-style-type: none"> • 温度が極端に高いまたは低いところで長時間使用している。 • バッテリーそのものの寿命。 • バッテリーが消耗している。 | — — — | — 6 6、7 |
| バッテリーの残量表示が充分なのに電源がすぐ切れる。 | — | 満充電する。 | 7 |
| カセットが取り出せない。 | <ul style="list-style-type: none"> • 電源(バッテリーやACパワーアダプター)がはずれている。 • バッテリーが消耗している。 | <ul style="list-style-type: none"> • 電源をきちんと接続する。 • 充電されたバッテリーを取り付ける。 | 6、10 6、7 |
| Ⓜや▲が点滅し、カセット取出しスイッチ以外働かない。 | 結露している。 | カセットを取り出して、約1時間してからもう1度入れ直す。 | 75 |

その他

| こんなときは | これが原因です | 次のことを点検してください | 参照ページ |
|-----------------------------------|--------------------------------|-------------------------------|-------|
| 付属のワイヤレスリモコンが働かない。 | •メニューの「リモコン」を「切」にしている。 | •「入」にする。 | 55 |
| | •リモコンと本体のリモコン受光部の間に障害物がある。 | •障害物を取り除く。 | — |
| | •リモコンの乾電池の⊕極と⊖極が、正しく入っていない。 | •⊕極と⊖極を正しく入れる。 | 82 |
| | •乾電池そのものの寿命。 | •新しい乾電池に交換する。 | 82 |
| 外部入力しているのに液晶画面やTVに画像が映らない。 | メニューの「画面表示」が「ビデオ出力/パネル」になっている。 | 「パネル」にする。 | 55 |
| おしらせブザーが5秒間鳴りつづける。 | •結露している。 | •カセットを取り出して、約1時間してからもう一度入れ直す。 | 75 |
| | •本機に異常が発生している。 | •カセットを入れ直し、再度操作し直す。 | — |
| バッテリー充電中、表示窓に何も表示が出ない。または表示が点滅する。 | •ACパワーアダプターが外れている。 | •電源をきちんと接続する。 | 10 |
| | •バッテリーが故障している。 | •テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。 | — |

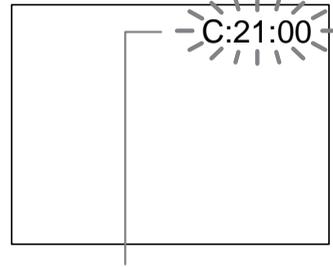
自己診断表示 - アルファベットで始まる表示が出たら

本機には自己診断機能がついています。

これは本機が正しく動作していないときに、液晶画面、ファインダーまたは表示窓にアルファベットと数字の5桁の表示でお知らせする機能です。表示によって、本機の状態がわかるようになっています。

詳しくは以下の表をご覧ください。各表示に合った対応をしてください。表示の末尾2桁()の数字は、本機の状態によって変わります。

液晶画面、ファインダーまたは表示窓



自己診断表示

「C: : 」:

お客様自身で正常に戻せる状態

「E: : 」:

テクニカルインフォメーションセンターに相談していただく状態

| 表示 | 原因 | 対応の仕方 | 参照ページ |
|----------------|----------------------------|--|--------|
| C:04: | “インフォリチウム”以外のバッテリーを使用している。 | “インフォリチウム”バッテリーをご使用ください。 | 8 |
| C:21: | 結露している。 | カセットを取り出して、約1時間してからもう1度入れ直す。 | 75 |
| C:22: | ビデオヘッドが汚れている。 | 別売りのクリーニングカセットできれいにする。 | 75 |
| C:31: C:32: | お客様自身で対応できる上記以外の状態になっている。 | <ul style="list-style-type: none"> カセットを入れ直し、再度操作し直す。 電源を一度取りはずし、取りつけ直してから再度操作し直す。 | — — |
| E:61: E:62: | お客様自身で対応できない状態になっている。 | テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。その際は、表示の5桁すべてをお知らせください。 例：E:61:10 | — |

お客様自身で対応できる場合でも、2、3度繰り返しても正常に戻らないときは、テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

警告表示とお知らせメッセージ

液晶画面とファインダーには、次のような表示が出ます。詳しい説明は、()内のページにあります。

警告表示

バッテリー消費時の警告

遅い点滅

- バッテリー残量が少ない(7)

速い点滅

- バッテリー残量がない(7)
- 状況によってはバッテリー残量が5分から10分ほどでも警告表示が点滅することがあります。

テープ関連の警告

遅い点滅

- テープ残量が5分を切った
- テープが入っていない*(11)
- テープが誤消去防止状態になっている*(11)

速い点滅

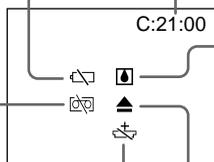
- テープが終わっている*

ボタン型リチウム電池の警告

遅い点滅

- ボタン型リチウム電池の消耗、または取り付けられていない(66)

自己診断表示(72)



結露の警告*

速い点滅

- テープが結露している
- テープを取り出し、電源をはずしてカセット入れを開けたまま約1時間放置する(75)

テープを取り出す必要がある警告*

遅い点滅

- テープが誤消去防止状態になっている(11)

速い点滅

- 結露している(75)
- テープが終わっている
- 自己診断表示が出ている(72)

お知らせメッセージ

警告表示とともに、以下のお知らせメッセージが出ます。メッセージにしたがって操作してください。

- バッテリーを取りかえてください(6)
- このバッテリーは古くなりました 取りかえてください(6)
- “インフォリチウム”バッテリーをつかってください(8)
- テープが終わっています*
- カセットを入れてください*(11)
- カセットの誤消去防止ツマミを確認してください*(11)
- Hi8テープでなければLP録画できません SP録画になります*(59)
- メニューで日付・時刻をあわせてください(62)
- ヘッドが汚れています/クリーニングカセットをつかってください*(75)
- 結露しています カセットを取り出してください*(75)
(カセットが入っていないとき、メッセージは「結露しています」*になります。)
- ダビングプロテクトされています 録画できません*(64)
- ボタン型リチウム電池を取りかえてください(66)

* 警告表示/お知らせメッセージが出るときに、「おしらせブザー」が鳴ります。

**液晶画面またはファインダーに「ヘッドが汚れています」と「クリーニングカセットをつかってください」の表示が交互に出ます。

海外で使う

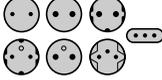
本機は外国でもお使いになれます

付属のACパワーアダプターAC-L10は、AC100V～240V・50/60Hzの広範囲な電源でお使いいただけます。

また、バッテリーも充電できます。ただし、電源コンセントの形状の異なる国では、電源コンセントにあった変換プラグアダプターをあらかじめ旅行代理店でおたずねの上、ご注意ください。

トラベルコンバーターはご使用にならないでください。故障の原因となることがあります。

海外のコンセントの種類

| | | |
|-------------|--|--|
| 壁のコンセントの形状例 |  主に北米、南米など |  主にヨーロッパなど |
| ↓ | 不要です。 ACパワーアダプターのプラグを直接差し込みます。 |  |

再生画像を見るには、日本と同じカラーテレビ方式（NTSC）で、映像/音声入力端子付きのテレビ（またはモニター）および接続ケーブルが必要です。

日本と同じカラーテレビ方式（NTSC）を採用している国または地域（五十音順）

- ・アメリカ合衆国
- ・大韓民国
- ・フィリピン
- ・エクアドル
- ・台湾
- ・プエルトリコ
- ・エルサルバドル
- ・チリ
- ・ベネズエラ
- ・カナダ
- ・ドミニカ
- ・ペルー
- ・キューバ
- ・トリニダードトバゴ
- ・米領サモア
- ・グアテマラ
- ・バハマ
- ・ボリビア
- ・グアム
- ・ニカラグア
- ・ホンジュラス
- ・コスタリカ
- ・ハイチ
- ・ミクロネシア
- ・コロンビア
- ・パナマ
- ・ミャンマー
- ・スリナム
- ・バミューダ
- ・メキシコ
- ・セントルシア
- ・バルバドス

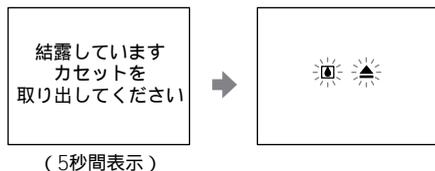
時差補正機能について

海外でお使いになるときはメニューで「時差補正」を選べば、時差を設定するだけで時刻を現地時間に合わせることができます。詳しくは55ページをご覧ください。

お手入れ

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の心臓部であるヘッドやテープ、レンズに水滴が付くことです。テープがヘッドに貼り付いて、ヘッドやテープを傷めたり、故障の原因になります。結露が起ると、液晶画面またはファインダーに下のように警告表示が出来ます。ただし、レンズの結露では表示は出ません。



結露が起きたときは

カセットは直ちに取出してください。警告表示が出ている間は、カセット取出しスイッチ以外は働きません。

電源を切ってカセット入れを開けたまま、結露がなくなるまで(約1時間)放置してください。電源を入れてもお知らせメッセージが出ず、カセットを入れてビデオ操作ボタンを押しても▲が点滅しなければ使用できます。

液晶画面をきれいにする

液晶画面に指紋やゴミがついて汚れたときは、別売りの液晶クリーニングキットを使ってきれいにすることをおすすめします。

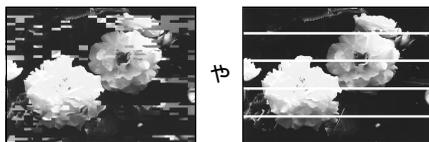
ヘッドをきれいにする

ビデオヘッドが汚れると、正常に録画できなくなったり、ノイズの多い再生画像になったりします。次のような症状になったときは、別売りの乾式クリーニングカセットV8-25CLD/V8-25CLDRを使ってヘッドをきれいにしておきましょう。

Digital8 (デジタルエイト)方式での再生/録画

- 再生画面に四角いノイズが出る。
- 再生画面の一部が動かない。
- 再生画像が出ない。
- 液晶画面またはファインダーに「ヘッドが汚れています」と「クリーニングカセットをつけてください」の表示が交互に出る。

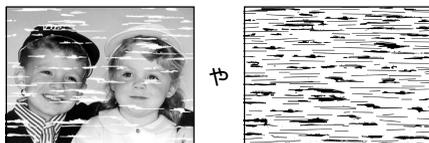
ビデオヘッドが汚れているときの画像



Hi8/スタンダード8ミリ(アナログ)方式での再生

- 再生画面がザラついている。
- 再生画面が不鮮明。
- 再生画像が出ない。

ビデオヘッドが汚れているときの画像



このような画像になったら、クリーニングカセットをお使いください。

結露が起りやすいのは次のように、温度差のある場所へ移動したり、湿度の高い場所で使うときです。

- スキー場のゲレンデから暖房の効いた場所へ持ち込んだとき
- 冷房の効いた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき
- スコールや夏の夕立のあと
- 温泉など高温多湿の場所

結露を起りにくくするために本機を温度差の激しい場所へ持ち込むときは、ビニール袋に空気が入らないように入れて密封します。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

ビデオヘッドは長時間使用すると摩耗します。クリーニングカセットを使っても鮮明な画像に戻らないときは、ヘッドの摩耗が考えられます。このときは、ヘッドの交換が必要です。テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

主な仕様

システム

| | |
|--------------|--|
| 録画 / 録音 | 回転2ヘッドヘリカルスキャン |
| 映像信号 | NTSCカラー、EIA標準方式 |
| 使用カセット | Hi8 (ハイエイト) / Digital8 (デジタルエイト) ビデオカセット テープ |
| 録画 / 再生時間 | SP : 60分 LP : 90分 (Hi8120分テープ使用時) |
| 早送り / 巻き戻し時間 | 約5分 (Hi8120分テープ使用時) |
| ファインダー | 電子ファインダー (カラー) |
| 撮像素子 | 1/4型CCD固体撮像素子 約46万画素 (有効画素数 : 約29万画素) |
| ズームレンズ | 25倍 (光学) 100倍 (デジタル) f=3.7~92.5mm (35mmカメラ換算では 48~1200mm) F1.6~3.3 フィルター径37mm |
| 色温度切り換え | 自動追尾 |
| 最低被写体照度 | 5ルクス (F1.6) 0ルクス (NIGHTSHOT時) |

入・出力端子

| | |
|--------------|--|
| S1映像端子 | Y出力 1Vp-p 75 不平衡 C出力 0.286Vp-p 75 不平衡 |
| 映像 / 音声端子 | AVミニジャック 映像 : 1Vp-p 75 不平衡 音声 : 入力時327mV、インピーダンス47k 以上 出力時327mV、(47k 負荷時)インピーダンス2.2k 以下 |
| ○ (ヘッドホン) 端子 | ステレオミニジャック (Ø3.5) |
| LANC端子 | ステレオミニミニジャック (Ø2.5) |
| マイク入力端子 | ステレオミニジャック (Ø3.5) |
| Ⓜ DV入力/出力端子 | i.LINK (IEEE1394、4ピン特殊コネクターS100) |

液晶画面

| | |
|-------|-------------------------|
| 画面サイズ | 2.5型 |
| 総ドット数 | 123,200ドット 横560×縦220 |

電源部、その他

| | |
|---------------------|--|
| 電源電圧 | バッテリー端子入力7.2V DC IN端子8.4V |
| 消費電力 (バッテリー使用時) | 2.8W (ファインダー使用時) 3.5W (液晶画面使用時、明るさ標準) |
| 動作温度 | 0 ~ +40 |
| 保存温度 | -20 ~ +60 |
| 外形寸法 (最大突起部をのぞく) | 107 × 106 × 207mm (幅×高さ×奥行き) |
| 本体質量 | 約 940g (本体のみ) |
| 撮影時総質量* | 約 1.1kg * バッテリーNP-F330、ボタン型 リチウム電池CR2025、 Hi8120分テープ含む。 |
| 付属品 | ACパワーアダプターAC-L10(1) バッテリーパックNP-F330(1) レンズキャップ(1) ワイヤレスリモコン(1) 単3型乾電池 (リモコン用) (2) AV接続ケーブル(1) ボタン型リチウム電池CR2025 (本体に装着済み) (1) 撮り方ビデオ(1) 取扱説明書(1) カスタマーご登録はがき(1) ハンディカムカスタマー ご登録のお勧め(1) カスタマーご登録CD-ROM(1) 保証書(1) |

ACパワーアダプターAC-L10

| | |
|---------------------|---------------------------------|
| 電源 | AC100~240V、50/60Hz |
| 定格出力 | DC8.4V、1.5 A |
| 動作温度 | 0 ~ +40 |
| 保存温度 | -20 ~ +60 |
| 外形寸法 (最大突起部をのぞく) | 約125 × 39 × 62 mm (幅×高さ×奥行き) |
| 質量 | 約 280g (本体のみ) |

バッテリーパックNP-F330

| | |
|----|----------------|
| 電圧 | 7.2V |
| 容量 | 5.0Wh (700mAh) |
| 種類 | Li-ion |

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

このデジタルビデオカメラレコーダーは国内仕様です。外国で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを“故障かな？と思ったら”の項を参考にして故障かどうかお調べください。

それでも具合の悪いときはテクニカルインフォメーションセンター(本書の裏面参照)にご相談ください。

保証期間中の修理は保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

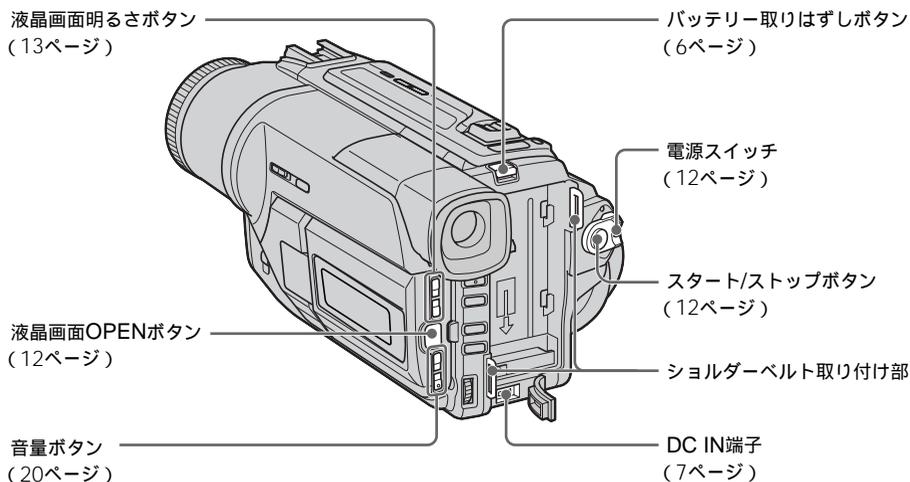
保証期間経過後の修理は修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社はデジタルビデオカメラレコーダーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間が経過した後も、故障個所によっては修理可能な場合がありますので、テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

各部のなまえ

使いかたの説明は、()内のページにあります。

本体



この純正マークは、ソニー(株)のビデオ機器関連商品が純正製品であることを表すマークです。



ソニー(株)のビデオ機器をお求めの際は、純正マークもしくはソニーロゴタイプが表示されているビデオ機器関連商品をご購入されることをおすすめします。

ビデオ操作ボタン
(19、21ページ)



電源スイッチを「ビデオ」にすると
ボタン部分が点灯します。

エディットサーチボタン
(18ページ)

NIGHTSHOTスイッチ
(16ページ)

SUPER LASER
AVLINKボタン
(23ページ)

SUPER NIGHTSHOT
ボタン
(17ページ)

フォーカスリング
(35ページ)

表示窓
(84ページ)

内蔵ステレオマイク
(12ページ)

三脚用ネジ穴(底面)
ネジの長さが6.5mm未満の三脚
をお使いください。ネジの長い三
脚ではしっかり固定できず、本機
を傷つけることがあります。

録画ランプ
(13ページ)

フォーカススイッチ
(35ページ)

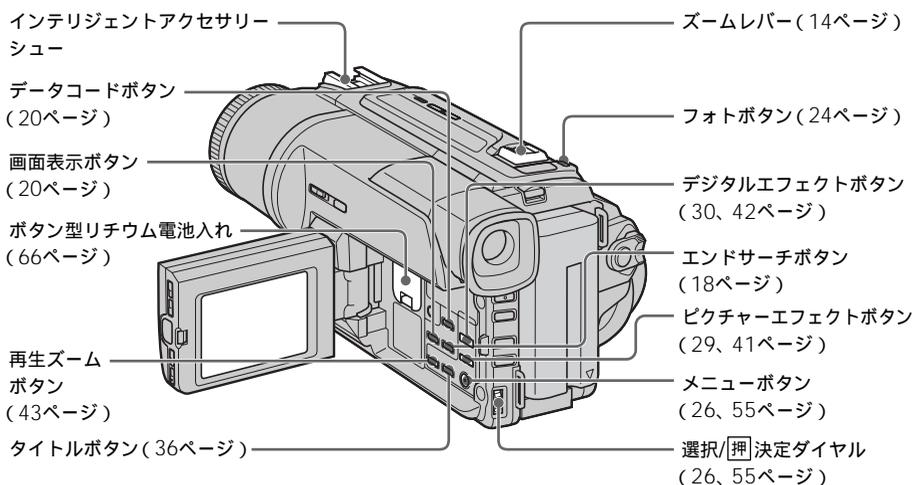
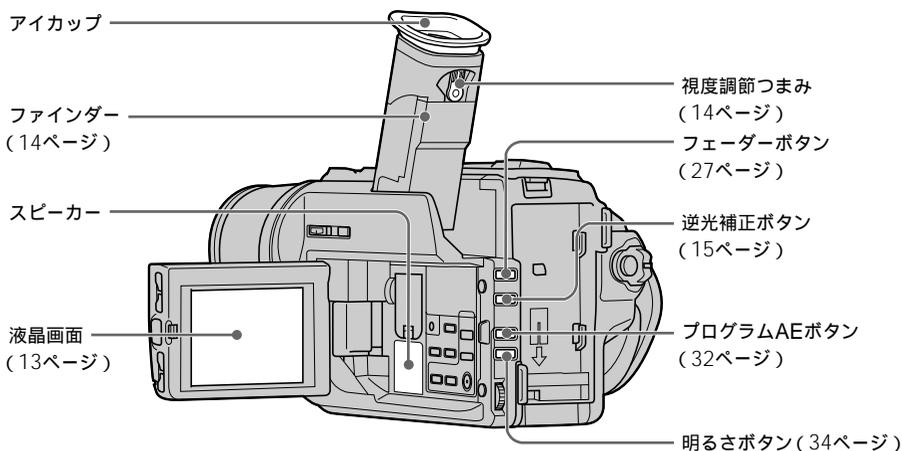
赤外線発光部
(16、23ページ)

リモコン受光部

SUPER LASER AVLINK
(スーパーレーザーエーピリン
ク)とは

マークのあるSUPER
LASER AVLINK対応機器の間
で赤外線による映像と音声の送
受信をおこなうシステムです。

各部のなまえ(つづき)



Intelligent Accessory Shoe

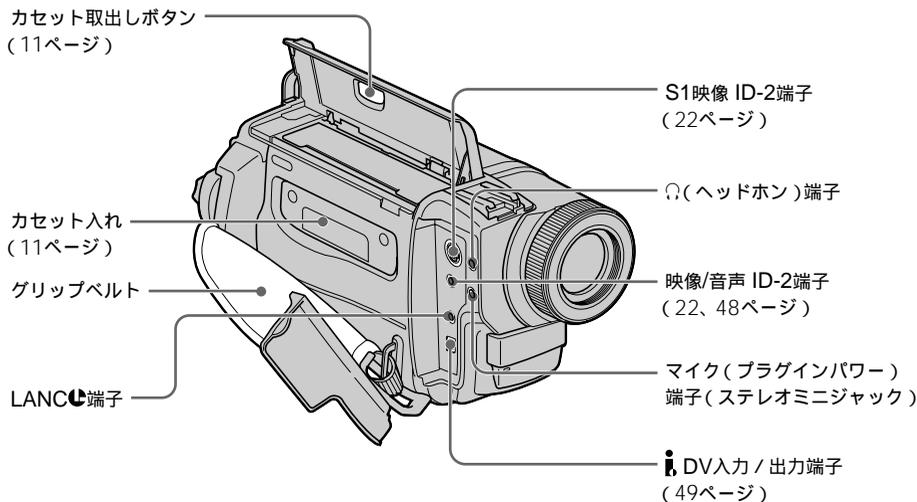
インテリジェントアクセサリシューについて

- 別売りの専用マイクやビデオライトなどをお使いになると、本機から電源を供給できます。
- 本機の電源スイッチに連動して、アクセサリの電源の入/切ができます。

(お使いになるアクセサリの取扱説明書をあわせてご覧ください。)

- 取り付けたアクセサリがはずれて落ちたりしないように、はずれにくい構造になっています。アクセサリを取り付けるときは、押しながら奥まで差し込み、取り付けネジを確実に締め付けてください。

- アクセサリを取りはずすときは、取り付けネジをゆるめ、上から押しながらはずしてください。



LANCマークについて

☑は、LANC端子のマークです。LANC端子とは、ビデオ機器と周辺機器を接続し、テープ走行などをコントロールできるようにした端子です。

ヘッドホンを使うとスピーカーから音は出ません。

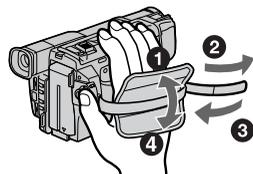
別売りの外部マイクを使う場合マイク (プラグインパワー) 端子はプラグインパワー方式の外部マイク用電源端子とマイク入力端子が兼用になった端子です。

PCとの接続

- パソコンで加工したり編集した画像をi.LINKケーブルを使って本機で録画するときは新しいHi8**Hi8**/Digital8 **D**テープをお使いください。
- Hi8 / スタンダード8ミリ (アナログ) 方式で記録した画像をパソコンに取り込むときは、一度Digital8 **D**方式またはDV方式のビデオヘッドビンクルし、その画像をパソコンに取り込んでください。

Ⓜ DV端子は、i.LINKに準拠したDV入出力専用の端子です。

グリップベルトのしめ方

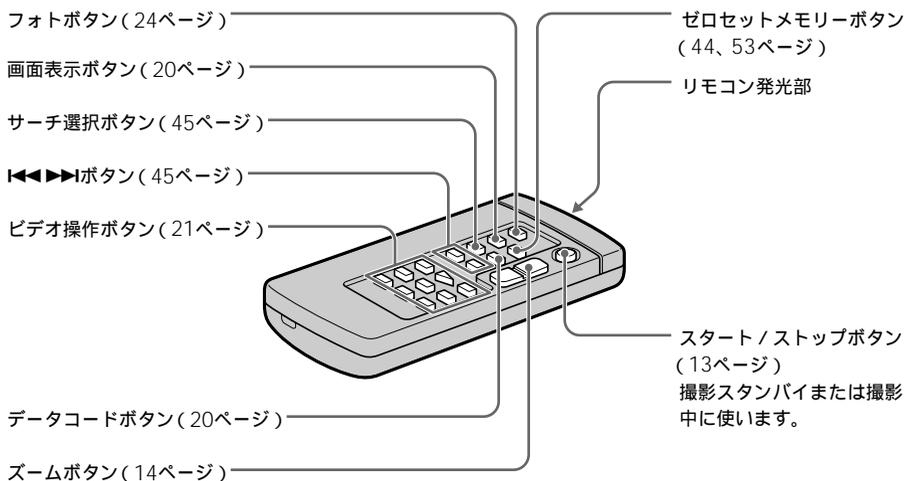


グリップベルトはしっかりとしめてください。

検索する

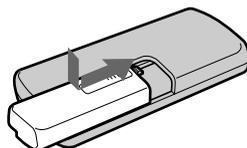
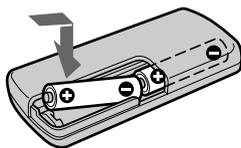
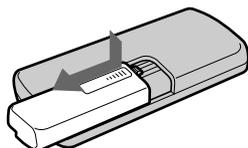
各部のなまえ(つづき)

ワイヤレスリモコン



電池の入れかた

- 1 押しながらずらす。
- 2 入れる。
- 3 元に戻す。

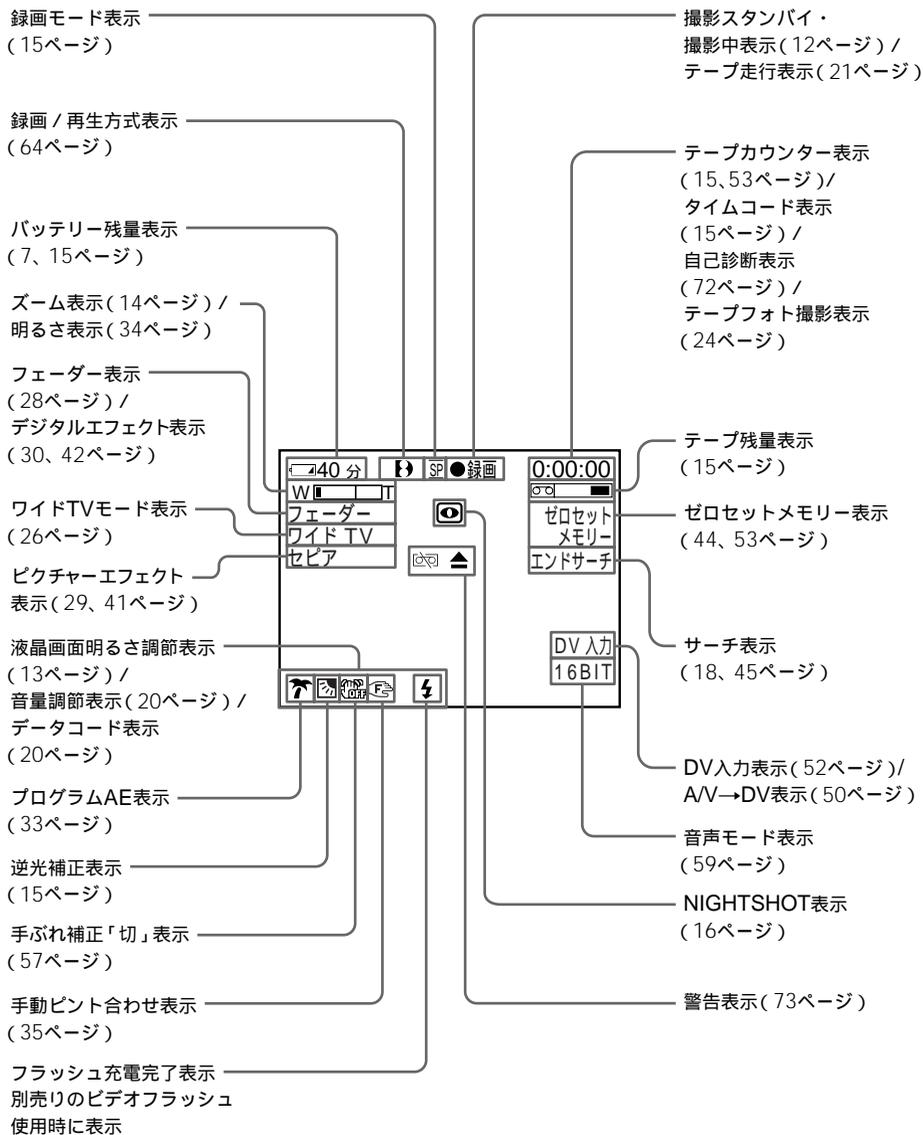


リモコンについて

- 本体のリモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光があたらないようにご注意ください。リモコン操作ができないことがあります。

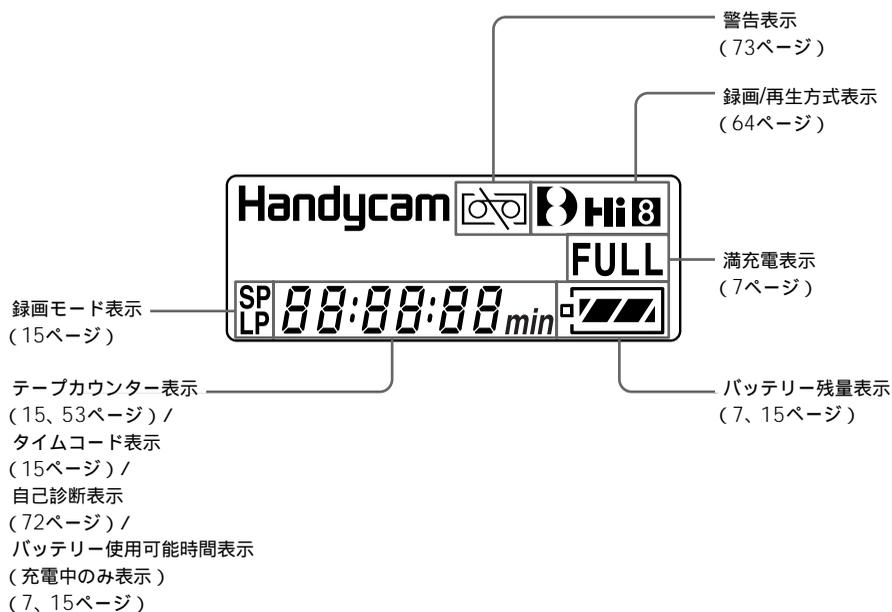
- 付属のリモコンで本機を操作しているときに、他のビデオデッキが誤動作することがあります。その場合、ビデオデッキのリモコンモードスイッチをVTR2以外のモードに切り換えるか、黒い紙でリモコン受光部をふさいでください。

液晶画面とファインダーの表示



各部のなまえ(つづき)

表示窓の表示



主な機能ガイド

明るさが気になるときの機能 [撮影中]

| | | |
|---------------------|-----------|-------|
| あたりが真っ暗なとき | NIGHTSHOT | 16ページ |
| ろうそく程度の明かりしかないとき | キャンドル | 32ページ |
| 花火大会や夕暮れ、夜景を撮るとき | サンセット&ムーン | 32ページ |
| 逆光(被写体の背後に光源がある)のとき | 逆光補正 | 15ページ |
| 結婚式・舞台など、一部分が明るいとき | スポットライト | 32ページ |
| スキー場、海岸などとても明るいとき | ビーチ&スキー | 32ページ |

インパクトある画像を作るための機能 [撮影中]

| | | |
|--------------|--------------------------|----------------|
| 場面転換する | フェードイン・フェードアウト | 27ページ |
| 静止画を撮りたい | テープフォト | 24ページ |
| 画像をデジタル処理したい | ピクチャーエフェクト/ デジタルエフェクト | 29ページ 30ページ |
| 被写体を引き立てたい | ソフトポートレート | 32ページ |
| タイトルを入れたい | タイトル機能 | 36ページ |

さりげなく自然な画像にするための機能 [撮影中]

| | | |
|--------------------|--------------|-------|
| ズーム時の画質低下を押さえない | メニュー：デジタルズーム | 55ページ |
| 意図的にピントを合わせたい | 手動ピント合わせ | 35ページ |
| 遠くの被写体にピントを合わせたい | 風景 | 32ページ |
| ゴルフスイングなどの速さをとらえたい | スポーツレックス | 32ページ |

撮影後の編集・お手持ちの機器との接続のための機能 [撮影中]

| | | |
|----------------|----------|-------|
| ワイドテレビで見る予定のとき | ワイドTVモード | 26ページ |
|----------------|----------|-------|

撮影し終わったテープで行う機能 [再生中]

| | | |
|------------------|--------------------------|----------------|
| 撮影した画像にデジタル処理したい | ピクチャーエフェクト/ デジタルエフェクト | 41ページ 42ページ |
| 撮影した日時を確認する | データコード | 20ページ |
| 見たい場面にすばやく戻す | ゼロセットメモリー | 44、53ページ |
| 静止画を探す | フォトサーチ | 46ページ |
| 静止画を次々に探す | フォトスキャン | 47ページ |
| モノラル音声、副音声で聞く | メニュー：パイリンガル | 55ページ |
| コードレス再生したい | SUPER LASER AVLINK | 23ページ |

索引

ア行

| | |
|----------------------|-------|
| 明るさ調節 | 34 |
| インサート編集 | 53 |
| インテリジェント アクセサリシュー | 80 |
| “インフォリチウム” バッテリー | 8 |
| 液晶画面 | 13 |
| エディットサーチ | 18 |
| エンドサーチ | 18、21 |
| オーバーラップ | 27 |
| オールドムービー | 30 |
| おしらせブザー | 61 |
| お知らせメッセージ | 73 |
| 音声多重テープ | 64 |
| 音声ミックス | 58 |
| 音声モード | 59 |

カ行

| | |
|------------|----|
| 外部マイク(別売り) | 81 |
| 画面表示 | 20 |
| カラーテレビ方式 | 74 |
| 逆光補正 | 15 |
| 逆方向再生 | 21 |
| 記録・再生方式 | 64 |
| グリップベルト | 81 |
| 警告表示 | 73 |
| 結露 | 75 |
| 広角 | 14 |
| 高速アクセス | 21 |
| 誤消去防止ツマミ | 11 |

サ行

| | |
|--------------|-------|
| 再生ズーム | 43 |
| 撮影時間 | 8 |
| サブ(音声) | 64 |
| 自己診断表示 | 72 |
| 時差補正 | 61 |
| 実用充電 | 7 |
| 視度調節 | 14 |
| 充電 | 7 |
| 主音声 | 64 |
| ズーム | 14 |
| スチル | 30 |
| ステレオ放送テープ | 64 |
| スローシャッター | 30 |
| 赤外線送信 | 16、23 |
| 接続(テレビで見るとき) | 22 |
| (編集のとき) | 48 |
| ゼロセットメモリー | 44、53 |
| 選択/押決定ダイヤル | 55 |

タ行

| | |
|--------------|-------|
| タイトル | 36 |
| タイムコード | 15 |
| 対面撮影 | 13 |
| つなぎ撮り | 12 |
| テープカウンター | 15 |
| データコード | 20 |
| テープ残量表示 | 15 |
| テープの終わり表示 | 73 |
| テープフォト撮影 | 24 |
| デジタルエフェクト | 30、42 |
| デジタル変換機能 | 50 |
| 手ぶれ補正 | 57 |
| デモンストレーション | 60 |
| 電源(家庭用コンセント) | 10 |
| (自動車の電源) | 10 |
| (バッテリー) | 6 |
| ドットフェーダー | 27 |
| トレイル | 30 |

ナ行

| | |
|-----------|----|
| 二重音声放送テープ | 64 |
|-----------|----|

ハ行

| | |
|--------------------|-------|
| 倍速再生 | 21 |
| バイリンガル | 58 |
| バウンド | 27 |
| バッテリー | 6 |
| バッテリー残量表示 | 15 |
| ピクチャーエフェクト | 29、41 |
| 日付サーチ | 45 |
| 日付・時刻合わせ | 62 |
| ピント合わせ | 35 |
| ファインダーの表示 | 83 |
| フェーダー | 27 |
| フェードイン・ フェードアウト | 27 |
| フォーカス | 35 |
| フォトサーチ | 46 |
| フォトスキャン | 47 |
| 副音声 | 64 |
| フラッシュモーション | 30 |
| プログラムAE | 32 |
| ヘッド | 75 |
| Ⓜ(ヘッドホン)端子 | 81 |
| ヘッド汚れ表示 | 75 |
| 編集 | 51 |
| 望遠 | 14 |

マ行

| | |
|-----------|----|
| 満充電 | 7 |
| メイン(音声) | 64 |
| メニュー | 55 |
| モザイクフェーダー | 27 |
| モニターフェーダー | 27 |
| モノラル | 22 |

ラ行

| | |
|---------|----|
| リモコン受光部 | 79 |
| ルミナンスキー | 30 |
| レックレビュー | 18 |

ワ行

| | |
|-----------|----|
| ワイドTV | 26 |
| ワイヤレスリモコン | 82 |
| ワイプ | 27 |

アルファベット順

| | |
|----------------------------------|-------|
| ACパワーアダプター | 7 |
| AFM Hi-Fiステレオ方式 | 64 |
| AV接続ケーブル | 22、48 |
| Digital8(デジタルエイト)方式 | 64 |
| ID-2方式 | 26 |
| LANC端子 | 81 |
| NIGHTSHOT (ナイトショット) | 16 |
| NTSC方式 | 74 |
| PCとの接続 | 50、81 |
| S1映像端子 | 22 |
| SUPER LASER AVLINK | 23、79 |
| SUPER NIGHTSHOT (スーパーナイトショット) | 17 |

カスタマー登録の ご案内

電話のおかけ間違いに
ご注意ください。

ソニーではハンディカムをお買い上げの皆様へのサポートをより充実
させていくため、お客様に「カスタマー登録」をお勧めしています。
詳しくは同梱の「ハンディカム カスタマーご登録のお勧め」をご覧ください。

カスタマー登録に関する問い合わせ
ソニーマーケティング(株)カスタマー専用デスク
電話： 03-3584-6651
受付時間：月～金曜日 午前10時～午後6時
(ただし、年末、年始、祝日を除く)

お問い合わせ窓口の ご案内

電話のおかけ間違いに
ご注意ください。

デジタルイメージングカスタマーサポート
デジタルハンディカムとパソコンの接続方法や、最新サポート情報を
ご案内するホームページです。

<http://www.sony.co.jp/support-di/>

テクニカルインフォメーションセンター
本機をお使いになって不明な点、技術的なご質問、
故障と思われるときのご相談窓口です。
電話： 0564-62-4979
受付時間： 月～金曜日 午前9時～午後5時
(ただし、年末、年始、祝日を除く)

D-Imaging World(デジタルイメージングワールド)

ハンディカムやデジタルスチルカメラを楽しく
使っていただくためのホームページです。

<http://www.sony.co.jp/di-world/>

Sony online <http://www.world.sony.com/>

「Sony online」は、インターネット上のソニーのエレクトロニクスとエンターテインメントのホームページです。

この説明書は再生紙を使用しています。

ソニー株式会社
〒141-0001
東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ ●ナビダイヤル：☎0570-00-3311 (全国どこからでも市内
通話料金でご利用いただけます) ●携帯電話・PHSでのご利用は：03-5448-3311
●Fax：0466-31-2595 受付時間：月～金 9:00～20:00、土・日・祝日 9:00～17:00